



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成29年9月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成29年6月	平成29年9月	前回調査比
茨城県	50.3	48.8	△1.5
県北地域	51.7	52.5	+0.8
県央地域	51.7	51.7	0.0
鹿行地域	51.3	47.9	△3.4
県南地域	50.8	48.6	△2.2
県西地域	45.8	43.2	△2.6

《景気の先行き判断DI》

	平成29年6月	平成29年9月	前回調査比
茨城県	51.7	51.1	△0.6
県北地域	52.1	54.6	+2.5
県央地域	55.1	53.4	△1.7
鹿行地域	50.0	51.7	+1.7
県南地域	54.2	48.2	△6.0
県西地域	47.0	47.5	+0.5

平成29年10月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	292 人	97.3%
県北地域	60 人	60 人	100.0%
県央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	59 人	98.3%
県南地域	60 人	55 人	91.7%
県西地域	60 人	59 人	98.3%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成29年9月調査の調査期間は、平成29年9月5日から平成29年9月30日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

II 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは48.8となった。平成29年6月の調査（以下、「前回調査」という。）より1.5ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

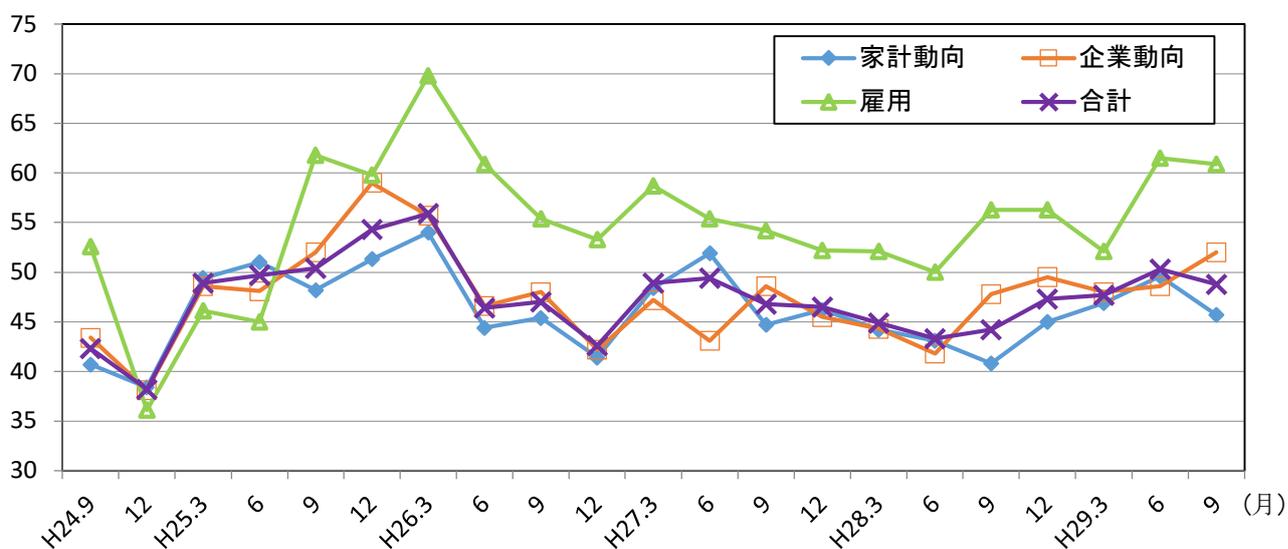
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		44.2	47.3	47.7	50.3	48.8
家計動向関連		40.8	45.0	46.9	49.6	45.7
小売関連		39.6	43.1	47.1	50.0	43.6
飲食関連		37.5	46.9	48.9	51.0	43.5
サービス関連		42.0	45.9	45.4	47.4	46.5
住宅関連		47.2	47.2	52.8	61.1	61.1
企業動向関連		47.8	49.5	48.0	48.6	52.0
農林水産業		43.8	50.0	37.5	50.0	57.1
製造業		46.4	50.5	46.3	47.9	54.3
非製造業		50.7	47.9	52.9	49.3	47.9
雇用関連		56.3	56.3	52.1	61.5	60.9

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成28年 9月	1.7%	13.7%	51.5%	25.8%	7.2%
平成28年12月	2.4%	17.6%	53.1%	20.7%	6.2%
平成29年 3月	2.1%	17.0%	53.8%	23.6%	3.5%
平成29年 6月	2.4%	23.5%	50.3%	20.4%	3.4%
平成29年 9月	1.7%	20.2%	53.8%	20.2%	4.1%

(DI) 図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは51.1となった。前回調査より0.6ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

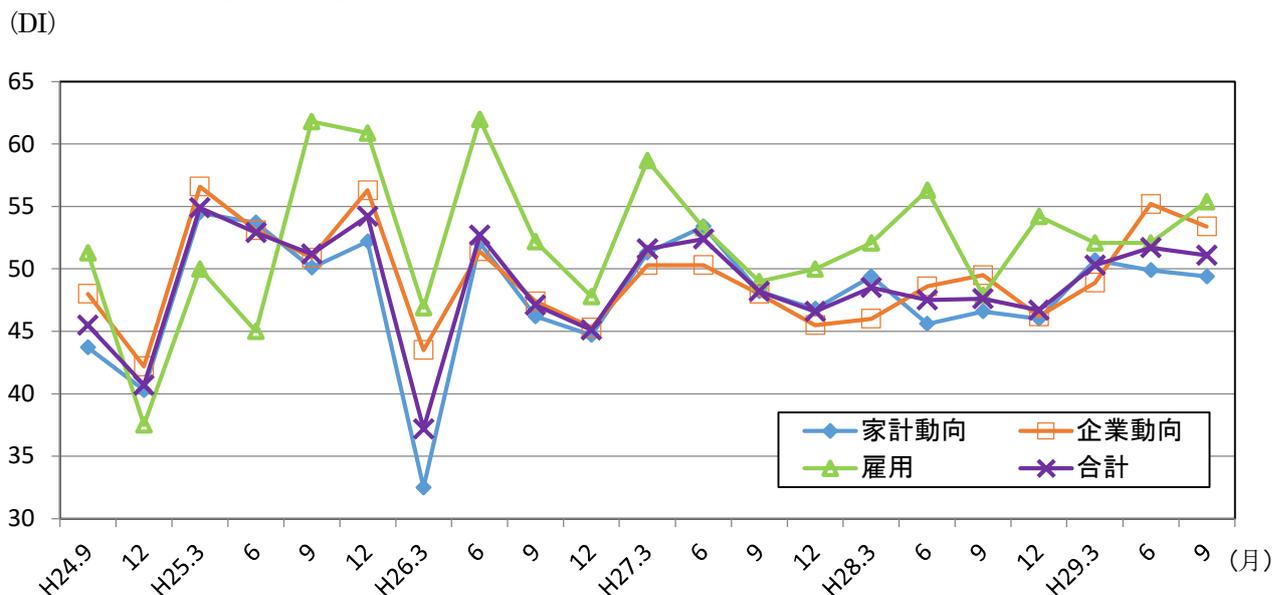
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月				
	平成28年 9月	平成28年 12月	平成29年 3月	平成29年 6月	平成29年 9月
合計	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1
家計動向関連	46.6	46.0	50.7	49.9	49.4
小売関連	45.4	48.2	47.1	48.5	45.7
飲食関連	56.3	42.7	59.1	56.3	54.3
サービス関連	44.9	44.2	51.6	48.7	51.0
住宅関連	44.4	52.8	50.0	52.8	52.8
企業動向関連	49.5	46.2	48.9	55.2	53.4
農林水産業	43.8	31.3	50.0	68.8	60.7
製造業	49.0	45.8	49.5	53.1	52.1
非製造業	51.4	50.0	47.8	55.0	53.6
雇用関連	47.9	54.2	52.1	52.1	55.4

表1-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	1.4%	19.2%	54.6%	17.9%	6.9%
平成28年12月	0.7%	17.2%	56.9%	18.6%	6.6%
平成29年 3月	1.7%	20.8%	57.6%	16.3%	3.5%
平成29年 6月	1.7%	23.1%	58.8%	12.9%	3.4%
平成29年 9月	2.1%	20.9%	59.6%	14.4%	3.1%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは52.5となった。前回調査より0.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		42.5	50.0	46.4	51.7	52.5
	家計動向関連	34.6	45.6	44.5	51.4	48.6
	企業動向関連	53.9	56.6	50.0	53.9	61.8
	雇用関連	56.3	56.3	43.8	43.8	43.8

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	1.8%	17.5%	38.6%	33.3%	8.8%
平成28年12月	0.0%	28.1%	47.4%	21.1%	3.5%
平成29年 3月	0.0%	16.4%	58.2%	20.0%	5.5%
平成29年 6月	1.7%	25.4%	50.8%	22.0%	0.0%
平成29年 9月	0.0%	26.7%	58.3%	13.3%	1.7%

② 県央地域

景気の現状判断DIは51.7となった。前回調査より変化はなく、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.0	47.8	48.3	51.7	51.7
	家計動向関連	45.5	44.6	46.7	50.7	50.7
	企業動向関連	57.8	48.4	50.0	50.0	48.4
	雇用関連	60.0	70.0	55.0	65.0	70.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	6.7%	15.0%	55.0%	18.3%	5.0%
平成28年12月	3.4%	15.5%	56.9%	17.2%	6.9%
平成29年 3月	1.7%	23.7%	42.4%	30.5%	1.7%
平成29年 6月	1.7%	27.1%	47.5%	23.7%	0.0%
平成29年 9月	5.1%	20.3%	50.8%	23.7%	0.0%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは47.9となった。前回調査より3.4ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		42.1	45.2	50.0	51.3	47.9
	家計動向関連	41.9	44.1	51.5	52.2	45.8
	企業動向関連	40.3	44.4	48.5	47.2	48.6
	雇用関連	50.0	55.0	45.0	60.0	60.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	0.0%	12.3%	54.4%	22.8%	10.5%
平成28年12月	1.8%	8.8%	63.2%	21.1%	5.3%
平成29年 3月	1.8%	16.1%	62.5%	19.6%	0.0%
平成29年 6月	1.8%	24.6%	52.6%	19.3%	1.8%
平成29年 9月	1.7%	18.6%	52.5%	23.7%	3.4%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは48.6となった。前回調査より2.2ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		43.8	49.2	48.3	50.8	48.6
	家計動向関連	39.6	50.7	48.6	50.7	45.6
	企業動向関連	47.4	44.7	47.4	48.7	50.0
	雇用関連	60.0	55.0	50.0	60.0	68.8

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	0.0%	8.3%	63.3%	23.3%	5.0%
平成28年12月	3.3%	16.7%	58.3%	16.7%	5.0%
平成29年 3月	1.7%	13.3%	61.7%	23.3%	0.0%
平成29年 6月	3.3%	18.3%	58.3%	18.3%	1.7%
平成29年 9月	0.0%	18.2%	60.0%	20.0%	1.8%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは43.2となった。前回調査より2.6ポイント低下し、横ばいを表す50を14期連続で下回った。

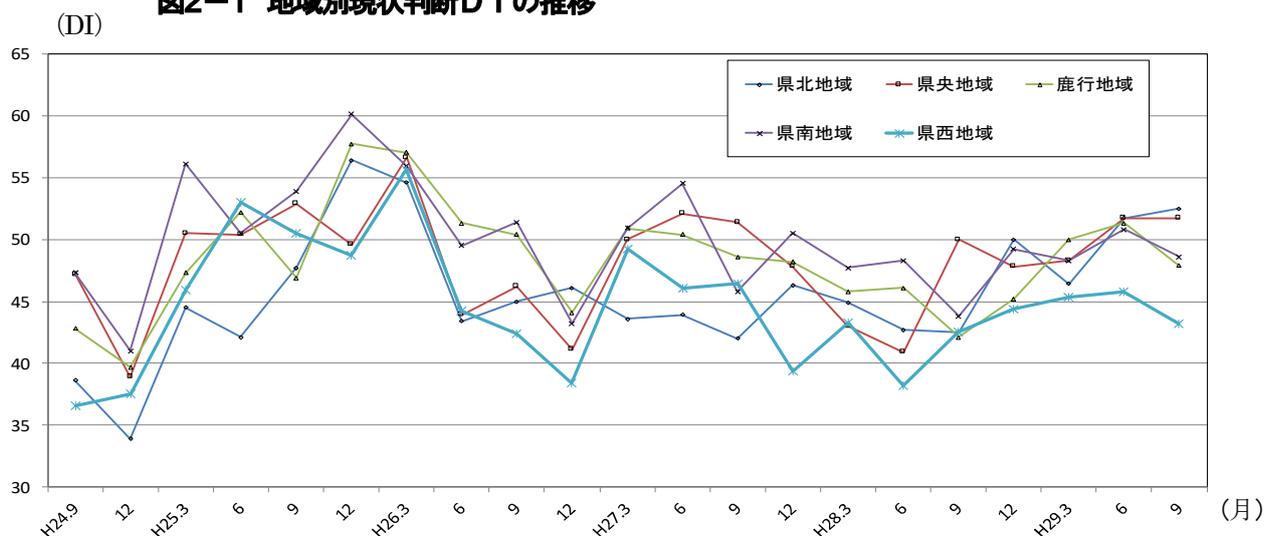
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		42.5	44.4	45.3	45.8	43.2
家計動向関連		41.7	39.7	42.9	42.9	37.1
企業動向関連		40.8	52.6	44.4	43.4	50.0
雇用関連		55.0	45.0	65.0	75.0	60.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	0.0%	15.8%	45.6%	31.6%	7.0%
平成28年12月	3.4%	19.0%	39.7%	27.6%	10.3%
平成29年 3月	5.2%	15.5%	44.8%	24.1%	10.3%
平成29年 6月	3.4%	22.0%	42.4%	18.6%	13.6%
平成29年 9月	1.7%	16.9%	47.5%	20.3%	13.6%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	24.9	24.12	25.3	25.6	25.9	25.12	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	H29.9月
県全体	42.3	38.2	48.9	49.7	50.4	54.3	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3	47.7	50.3	48.8
県北	38.6	33.9	44.5	42.1	47.7	56.4	54.6	43.4	45.0	46.1	43.6	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0	46.4	51.7	52.5
県央	47.2	38.9	50.5	50.4	52.9	49.6	56.5	43.9	46.2	41.1	50.0	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8	48.3	51.7	51.7
鹿行	42.8	39.7	47.3	52.2	46.9	57.7	57.0	51.3	50.4	44.1	50.9	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2	50.0	51.3	47.9
県南	47.3	41.0	56.1	50.5	53.9	60.1	55.9	49.5	51.4	43.6	50.9	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2	48.3	50.8	48.6
県西	36.6	37.5	45.9	53.0	50.5	48.7	55.6	44.2	42.4	38.4	49.2	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4	45.3	45.8	43.2
全国	41.2	45.8	57.3	53.0	52.8	55.7	57.9	47.7	47.4	45.2	52.2	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2 51.4	50.6 47.4	49.9 50.0	49.6(原数値) 51.3(季節調整値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは54.6となった。前回調査より2.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		48.7	43.4	48.2	52.1	54.6
	家計動向関連	47.8	44.1	47.7	51.4	53.4
	企業動向関連	52.6	43.4	47.4	55.3	59.2
	雇用関連	37.5	37.5	56.3	43.8	43.8

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	3.5%	21.1%	50.9%	15.8%	8.8%
平成28年12月	0.0%	12.3%	57.9%	21.1%	8.8%
平成29年 3月	0.0%	16.4%	63.6%	16.4%	3.6%
平成29年 6月	0.0%	25.4%	59.3%	13.6%	1.7%
平成29年 9月	3.3%	23.3%	61.7%	11.7%	0.0%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは53.4となった。前回調査より1.7ポイント低下したものの、横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		49.2	46.6	56.4	55.1	53.4
	家計動向関連	45.5	43.9	58.6	53.3	52.6
	企業動向関連	57.8	46.9	53.1	57.8	50.0
	雇用関連	50.0	65.0	50.0	60.0	70.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	3.3%	20.0%	51.7%	20.0%	5.0%
平成28年12月	0.0%	17.2%	60.3%	13.8%	8.6%
平成29年 3月	1.7%	33.9%	52.5%	11.9%	0.0%
平成29年 6月	5.1%	25.4%	54.2%	15.3%	0.0%
平成29年 9月	3.4%	22.0%	59.3%	15.3%	0.0%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは51.7となった。前回調査より1.7ポイント上昇し、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合 計		49.6	46.9	52.2	50.0	51.7
	家計動向関連	50.0	44.9	52.2	47.8	51.4
	企業動向関連	48.6	50.0	54.4	55.6	55.6
	雇用 関 連	50.0	50.0	45.0	45.0	40.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	0.0%	15.8%	71.9%	7.0%	5.3%
平成28年12月	0.0%	12.3%	66.7%	17.5%	3.5%
平成29年 3月	3.6%	16.1%	66.1%	14.3%	0.0%
平成29年 6月	0.0%	17.5%	66.7%	14.0%	1.8%
平成29年 9月	0.0%	22.0%	64.4%	11.9%	1.7%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは48.2となった。前回調査より6.0ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合 計		47.5	48.8	50.0	54.2	48.2
	家計動向関連	46.5	51.4	52.1	51.4	47.1
	企業動向関連	50.0	42.1	46.1	57.9	47.1
	雇用 関 連	45.0	55.0	50.0	60.0	62.5

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成28年 9月	0.0%	18.3%	56.7%	21.7%	3.3%
平成28年12月	1.7%	20.0%	56.7%	15.0%	6.7%
平成29年 3月	1.7%	20.0%	56.7%	20.0%	1.7%
平成29年 6月	1.7%	28.3%	58.3%	8.3%	3.3%
平成29年 9月	0.0%	20.0%	58.2%	16.4%	5.5%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.5となった。前回調査より0.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

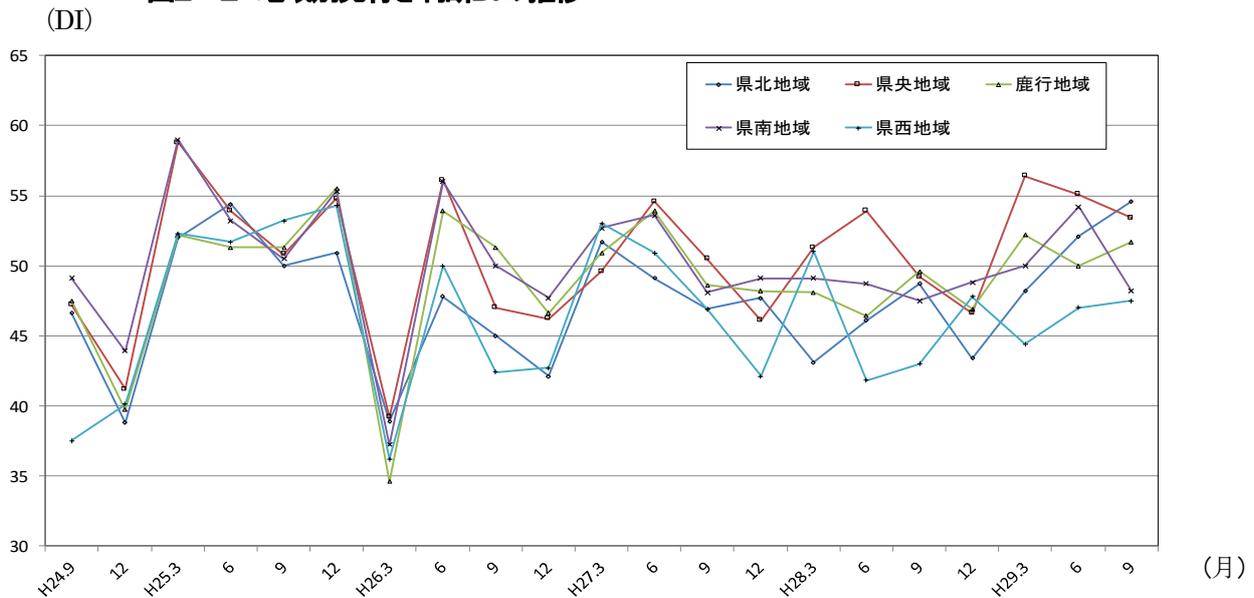
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成28年	平成28年	平成29年	平成29年	平成29年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		43.0	47.8	44.4	47.0	47.5
家計動向関連		43.2	45.6	42.1	45.0	42.1
企業動向関連		39.5	48.7	44.4	50.0	53.9
雇用関連		55.0	60.0	60.0	50.0	60.0

表2-20 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成28年 9月	0.0%	21.1%	42.1%	24.6%	12.3%
平成28年12月	1.7%	24.1%	43.1%	25.9%	5.2%
平成29年 3月	1.7%	17.2%	50.0%	19.0%	12.1%
平成29年 6月	1.7%	18.6%	55.9%	13.6%	10.2%
平成29年 9月	3.4%	16.9%	54.2%	16.9%	8.5%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	24.9	24.12	25.3	25.6	25.9	25.12	26.3	26.6	26.9	26.12	27.3	27.6	27.9	27.12	28.3	28.6	28.9	28.12	29.3	29.6	H29.9月
県全体	45.5	40.7	54.9	52.9	51.2	54.2	37.1	52.7	47.1	45.1	51.6	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7	50.3	51.7	51.1
県北	46.6	38.8	52.0	54.4	50.0	50.9	38.9	47.8	45.0	42.1	51.7	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4	48.2	52.1	54.6
県央	47.2	41.2	58.8	53.9	50.8	54.8	38.9	56.1	47.0	46.2	49.6	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6	56.4	55.1	53.4
鹿行	47.5	39.7	52.2	51.3	51.3	55.5	34.6	53.9	51.3	46.6	50.9	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9	52.2	50.0	51.7
県南	49.1	43.9	59.0	53.2	50.5	55.3	37.2	56.0	50.0	48.2	52.7	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8	50.0	54.2	48.2
県西	37.5	40.1	52.3	51.7	53.2	54.3	36.2	50.0	42.4	42.7	53.0	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8	44.4	47.0	47.5
全国	43.5	51.0	57.5	53.6	54.2	54.2	34.7	53.3	48.7	46.7	53.4	53.5	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0	49.0	51.5	50.4(原数値) 51.0(季節調整値)

《調査期間前後の主な出来事》

- 1/ 6 日野自動車古河工場, 全面稼働
- 4/27 にぎわい広場Waiwaiドームしもつまオープン
- 6/ 1 生活関連・食品の一部値上げ
ビール, はがき, 電気・ガスなど
- 8/24 県内海水浴場客27.4%減 天候不順影響
- 8/27 茨城県知事選挙 大井川和彦氏が初当選
- 8/29 北朝鮮がミサイル発射 太平洋に落下
- 9/15 北朝鮮が8月に続き再びミサイル発射 太平洋に落下
- 9/25 景気回復58か月連続
戦後2番目の長さの「いざなぎ景気」超える
- 9/28 衆議院解散

III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】 (－: 回答が存在しない。 ○: 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新規の見積依頼や契約物件が増加している。
		スーパー	新規の客が増えたような気がする。売り場に活気がある。
		農産物直売所	NHK連続テレビ小説「ひよっこ」の影響かも知れないが、客が増加した。
		ラーメン店	客から落ち着いた雰囲気が見受けられる。会合(会食)が増えてきた。昨年の売上げより10%伸びた。
		観光型ホテル	予約や問合せ状況から見て、やや良くなっていると判断した。
	企業	ゴルフ場	1. 4~6月の前年比92%に対し、7~9月前年比99%で7ポイント良くなっている。 2. 国際情勢・選挙等の後始末次第では、ゴルフ市況横ばい。
		林業関係者	丸太製品は時期的な落ちはあるが、流通があることで少しずつ良くなっているように感じる。
		製造業(食料品)	3か月前と比較し、前年比で上昇しており、弊社分を除く各取引先の売上状況も3か月前と比較し増加の様様。
		製造業(電気機械器具)	前年と比べ受注額がやや増加傾向にある。
		製造業(電気機械器具)	半導体関連の顧客からの注文が相当増加している。
		製造業(化学工業)	天候不順だったが売上げは伸びている。「夏らしくない」特需があったとみている。
		製造業(電気機械器具)	各種の仕事量が増えているので、やや良くなっていると判断した。
		製造業(精密機器)	新規顧客からの引き合いが増加している。今までの外注では対応しきれなくなっているのだと思う。
	雇用	情報通信業(情報サービス業)	業種にもよるが商談が増えてきている。
運輸付帯サービス業		1. 購入品の納期が長くなってきているので、繁忙と思われる。 2. 関係先で、休日を来年に振り替える業者があるので忙しくなっていると思う。	
変わらない	学校就業関係者	求人数が多いため、やや良くなっていると判断した。	
	家計	スーパー	余計な商品はほとんど購入していない。
		酒・各種商品小売業	7, 8月はお中元等により繁忙期なので売上げは上昇するが、昨年の同時期と比較すると同程度のため、またビール等の値上げがあったが、敏感に反応する人、そうでない人がおり、結果的にそれほど変わらなかった。
		衣料品販売店	客数、客単価は変わらなかった。
		自動車販売店	市場での車の動きならびに、客の購買意欲や消費行動に変化が見られない。
		小売業(弁当・惣菜店)	特に大きな変化は感じられないので変わらないと判断しました。
		小売業(燃料)	売上高、販売数量とも特段の変化はないので、変わらないと判断した。
		小売業(酒類)	専門店として品揃えに努力している。特に日本酒、ワインに力を入れている。少しずつ単価の高い商品が販売に繋がっている気がする。
		小売業(水産物)	必要な分だけ購入し、余分な買い物をしていない。
		小売業(時計)	現在の経済の様子を見て、悪くはないと思ひ、変わらないと判断した。
		レストラン	人の流れが同じなので、変わらないと判断した。
		食堂	客層が大体同じである。40年の内に年を取り、なかなか地元まで来られなくなった人も出てきた。他県から娘のファンが月曜日に多数来店し、店の前のコンビニも喜んでいる。
		観光型ホテル	前年同期と比較して宿泊・日帰り利用ともにほぼ横ばいであり、景気は変わらないと判断する。
		旅行代理店	3か月前や現在の状況を前年同期と比較すると、変化が見られないため変わらないと判断した。
		タクシー運転手	期待の8月上旬に行われた音楽のビッグイベントは盛況裡に終了したが、タクシーの増収には結びつかなかった。会社関係も例年のごとく長い夏休みがあったり、全般的にいつもの夏枯れ状態が続く、それが大きく影響し低レベルでの営収で、いつも通りの感じで景気は変わらないとした。
		タクシー運転手	客の様子から判断して、あまり好材料の話等が聞こえてこない状況。
		レジャー施設	3か月前と比較して、特に景気情勢の変化が感じられないため、変わらないと判断した。
ゴルフ場	安い商品でしか物が売れないことに変わりがないため、変わらないと判断した。		
ゴルフ場	特に目立った部分は見受けられないため変わらないと判断した。		
ボウリング場	先月までは夏休みの多客期であったため、土日を中心に、一定数の来客があったが、固定客(リピーター)の増加は少なく、夜間の利用者もあまり多いとは言えない。現状では景気が回復しているようには感じられない。		
写真店	写真館は、6, 7, 8月が撮影件数が少なくなる。9月も影響を受けやすい。		

変 わ ら な い	企業	水産業関係者	動きが見られない。
		製造業（電気機械器具）	生産拠点が海外へシフトしており国内製作案件が徐々に低下しているため、変わらないと判断した。
		製造業（食料品）	夏の長雨の影響かも知れないが、仕事量が減少している。客は特売品や底値価格品を購入する傾向があり、今も継続している。
		製造業（一般機械器具）	来客数に大幅な増減が見られないので、変わらないと判断した。
		製造業（輸送用機械器具）	大手の国産車に代表されるようにヨーロッパ及び中国を中心に電動化(EV)の開発・販売が活発になってきており、加えて、自動運転の次のステージに向けた開発が加速している状況にあるが、依然として開発は国内で行っているが生産は海外となるため大きな売上げの増加に結び付いていない。
		製造業（精密機器）	横ばいで変化はありませんが、新しい仕事が年内の納期で発注されていますので来年からは良くなると思います。
		建設業	当社の業況や金融機関等の話からも明るい材料はなくあまり変わっていない。
		運輸業	貨物等の引合いは多いが、人手不足で対応ができない。また、運送料金はほとんど値上げができていないので、例年通りの売上げになる見込みから変わらないと判断した。
		金融業	大手企業の動向で、地場産業は大きく影響を受ける環境にあるのは従来通りです。地域活性化の為にイベント等も多く開催され、町興しに積極的に取り組んでいるものの具体的な進展は感じられず現状維持。不動産業界においても活発な動きはなく、マンションの販売状況も苦戦が続いております。人口流出に歯止めがかからず、後継者問題で事業廃業の事業所も多く、先行きの不安感は払拭されてはおりません。
		不動産業	来場、成約顧客数について、大きな変化はない。
や や 悪 く な っ て い る	雇用	求人広告	良いと感じる要素とそうでない要素どちらもあるので結果的に変わっていない。
		家計	商店街代表者
	家計	スーパー	6月頃より、農作物の不作もあり、野菜などの価格に消費者が買上げの点数減で対応してきている。
		コンビニエンスストア	店舗における客単価・買上点数が直近において下降しているためやや悪くなっていると判断した。
		ラーメン店	飲食の低下、主に酒が減少傾向である。
		ドライブイン	当店の売上げ・客数、また客の平均単価が2~3%減少している。前年度と比較してしても同様だ。客数が多い日であっても売上げはあまり伸びていない。
		企業	-
	雇用	公共職業安定所	求人募集を出しても集まらない。人手不足感が更に増してきた。
		求人開拓員	長雨等の影響もあり、野菜等の値上がりが大きく、買物売り場で多くの方が足を止め悩んでいる姿を確認。財布に響いている様子で、一品少なく買物をしている話も聞く。ライフライン等では、ここ3か月間ガソリン価格は安定しており、高いところではレギュラーで128円、安いところでは124円での販売が続いている。
	悪	家計	スナック

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野		
良	家計	ペット美容室	季節柄から良くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	秋の収穫時期となり農産物の販売代金等の収入が入るため、良くなっていると判断した。
	雇用	公共職業安定所	有効求職者数は51か月連続で前年同月を下回り、有効求人数は7か月連続で前年同月を上回っていることから、有効求人倍率は1.55倍と54か月連続で前年を上回っている。引き続き高い水準で推移しており、職種によっては人手不足が深刻化しているが景気を下押しするほどではない。この先、有効求人倍率がどこまで上昇を続けるのか、天井はまだ見えてこない。
やや良くなっている	家計	百貨店	前年比より上回っている状況のため、やや良くなっていると判断した。
		レストラン	七五三の時期を前に個人の申し込みが増えてきている。(予算多目)
		割烹料理店	当店の周りは田んぼが多く、この時期は稲刈りの農家の客で賑わう。
		観光型ホテル	天候不順にもかかわらず、昨年よりやや強めに推移できた。
		バス運転手	買物する客が多くなった気がする。
		ドライブイン	秋の観光シーズンに入るので、花があまり咲かない月に比べて上向きになる。(観光バスも先月はほとんどなかった。)
	企業	建築設計事務所	官公庁からの業務委託や定期点検業務が増え始めた。しかし、民間業務に対しては、引き合いも横ばいである。よって、やや良くなっていると判断した。
		住宅販売会社	来店数が戻りつつある。
		製造業(金属製品)	春以降、少しずつ仕事量が増加しており、現在はほぼ100%の稼働率になっている。また同業者や新規顧客からの仕事の問合せも増加している。
		工務店	売上げ、見積依頼が増加している。
雇用	人材派遣業	新規の受注が増えている。	
	求人開拓員	当センターにおける7月以降求職者数(新規、再来、電話を含む)はわずかながら減少傾向にある。正社員雇用に対して依然非正規雇用求人が増えている傾向に変わりはないと言える。雇用情勢においては、前回同様に景気はやや良くなっているように感じられる。	
変わらない	家計	商店街代表者	人通りが少なく、また来店客も少ないので悪いまま変わらない。
		百貨店	買物自体に慎重になっているのは変わっていない。必要な物をよく考えてと言う流れに変化はない。
		スーパー	客単価が減少しているため、購買意欲が低下していると思う。
		スーパー	供給高が横ばいなため、変わらないと判断した。
		スーパー	客の買上点数、購買金額が変化していない。
		自動車販売店	販売・入庫台数とも前年同月とほぼ変化がない。
		農産物直売所	売れているギフト商品の点数、単価が前年比と変わらない。
		楽器販売	可もなく不可もなく、7月に低調だった分、8月は盛り返すような状況。
		レストラン	昨年とも変わらない。
		レストラン	予約状況を見ても単価の変動は見られない。またファミリー利用の単価も変わらない。
		都市型ホテル	特に変化が感じられない。
		都市型ホテル	宿泊部門は好調だが、レストラン等は減少しており、全体としては良くも悪くもなく変わらない。
		旅行会社	バスの稼働もツアーの集客も変わらない。
		タクシー会社	水戸県央交通圏及び県南交通圏の拠点営業所の業績から、売上・乗客数・来電回数ともに大きな変化はなく、前年対比からも大きな伸びが見られないことから横ばいであると判断いたします。
		レジャー施設	入館者は前年と変化なし。「やや悪くなっている」とも言えない理由としては、高速を使う県外(群馬、千葉他)の車は夏休み前から多く見られるが、県内ナンバーに変化がなく、県内景気が動いていない感がある。売店では安価な商品が出てきており、大きな「ぬいぐるみ」等の高額商品は特に変化は見られない。
		ゴルフ場	当社は客の来場者数により影響を受ける。3か月前と比較すると来場者数は微増にとどまり経営的にはほぼ同様に推移している。
		ゲームセンター	店舗が8月にリニューアルしたため、リニューアル前と比べると実績はあがっていますが業界全体に関しては景気の変化があったとは判断しがたいとみています。
		スーパー銭湯	お盆休暇の繋がりが良かったことや8月の天候不順により海のレジャー等ができなかったことから、屋内施設への入場者は大変良かったと思われる。当館も前年比より入館者が増加したが、財布の紐は固いように感じた。
理・美容店	9月は敬老会などイベントが多いので少し忙しい。		

変わらない	企業	製造業(食料品)	入ってくる情報や、体感により変わらないと判断した。
		製造業(印刷・同関連業)	仕事量や売上げにあまり変化がない。
		製造業(窯業・土石製品)	受注が横ばいで推移している。
		製造業(一般機械器具)	一部には元気の出た業種(建設機械)等もあるが、全体的になかなか元気にならない。
		建設業	全く変化の兆しなし。不動産などの処分なのか庶民の目線にも動きが出ている。
		運輸業(道路貨物運送業)	貨物の動きに変化が見られない。
		金融業	全体として消費意欲及び景気が上向いているようには感じられません。中小企業・個人事業主においては、設備投資等の意欲はあるものの、具体化してくる様子にはなく、ただ不透明感のみが感じられる。
		サービス業(コンサルタント業)	昨年と同じほど度の注文数であるため、変わらないと判断した。
雇用	求人広告	多少給料があがってもお金を使う人数が減っている気がする。	
	学校就業関係者	企業の人事担当者との情報交換の中で、3か月前と変わったという話は出てこない。ただ、引き続き求人活動をしている企業が多く、新卒人材が不足していると感じた。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	若干だが、少し節約気味な雰囲気を感じる。
		スーパー	客が必要最小限の物しか買わない人が多くなっている。客単価も低下している。
		スーパー	7月の暑さで今夏の猛暑を期待したが、8月は昨年同様の天候不順で売れるべき季節商品があまり売れなかった。
		コンビニエンスストア	天候不順による一人当たりの買上点数の減少が一番の要因であり、平年並みの天気・気温に戻れば回復すると思う。
		旅行代理店	旅行の申込み件数がさほど増えていなかったため、景気はやや悪くなっていると思う。
		タクシー運転手	乗車回数の減少は、夜間の飲食店に行く客が少なくなっているためである。売上げも前年比よりやや悪くなっているため、景気は若干悪くなっていると判断する。
		タクシー会社	搬送回数、売上額、ともに減少しているのでやや悪くなっていると判断した。
		観光名所	毎年夏休みシーズン、お盆期間は帰省客等で売上げが通常月より伸びるのだが、今年は天候の影響もあり、客数、売上げともに前年を大きく下回っている。客単価も以前は高額商品を購入する客も定期的にいたが、ここ最近では少なく、単価も落ちている。
		レジャー施設	契約件数が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		企業	製造業(食料品)
製造業(印刷・同関連業)	日々や各月の実績により、やや悪くなっていると判断した。		
製造業(精密機械器具)	OEM先の売上げが減少した。		
不動産業	賃貸、売買ともに数字を落としている。特に若い人の来店率が少ない。		
サービス業(広告業)	毎年9月から10月は大きな販促活動がないため、毎年広告宣伝ツールの発注が減少する。		
悪	-	-	-

(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野			
良	家計	小売業	売上げについて前年同月比より良くなっているので、景気は良くなっている。	
		コンビニエンスストア	直近3か月の担当店の状況を確認すると、売上げの良し悪し関係なく客単価の向上が見受けられるため、やや良くなっていると判断した。(安い商品での客単価が上がっているように感じる。)	
	家計	洋食食堂	8月は3日程店休があったが、前年比109%の売上げだった。	
		運転代行	週末の予約が集中していたが、平日でも多くなった。	
		タクシー会社	地域企業への送迎の仕事が増えている。	
		クリーニング店	衣替えの時期を迎えたので、客数が増加している。周りの人達も収穫の秋なので少し良くなっている。	
		住宅販売会社	7月後半以降、集客が増え、打ち合わせの客数も増加している。	
		製造業(化学工業)	当社業績が上向いてきているのでやや良くなっていると判断した。	
	企業	製造業(食料品)	原料の価格が下がってきたため、やや良くなっていると判断した。	
		製造業(金属製品)	自動車部品の一部で日本製造に戻った物があるので受注が多くなっている。	
		公共職業安定所	有効求人倍率が1.38倍から1.55倍に上がったため、やや良くなっていると判断した。	
	雇用	求人開拓員	最近、近所のスーパー等へ買物に行くと、買回り品や最寄り品(身の回り品)の値段が1割から2割ほど安くなっていることに気が付く。これは、客の買い控えを懸念しての業界の施策であると思うが、景気が良くなってきていることの表れであると思われる。	
		商店街代表者	門前の商店はスポット的に好況のところもあるが、総じて客数・客単価ともほぼ横ばいで推移している。	
	変わらない	家計	スーパー	売上げが横ばいなので変わらないと判断した。
			衣料品販売店	だいぶ天気に左右されたと思う。
家電販売店			季節要因を省くと、客の動向に大きな変化は感じない。前年比も概ね変わらず、客単価もほぼ同等である。	
小売業(食品)			7月解禁のワカサギ漁が不漁のためか、あまり活気がなかった。夏の長雨や寒さも気になる。	
小売業(書店)			目立つ商品の発売もなく、活性化する要因が少ない。イベントを企画しても客足が伸びない。	
和食レストラン			現状での大きな変化はない。客からも景気が良い等の話はなく、注文状況(金額)を見ても横ばい。景気好転の際は飲料、デザート等の注文が増加する。	
観光型ホテル			宿泊予約数がほぼ同じなため、変わらないと判断した。	
観光型ホテル			特に予約状況等を見ても変わらない。	
タクシー運転手			コンビナートの定期修理も小規模だったので売上げ的にも変わらない。	
タクシー運転手			どこを見ても景気が良くなっている状況や実感もなく、むしろ悪くなっているように思える。明るい光も見えず毎日惰性で走っているようなものだ。	
ドライブイン			秋の農産物の売行きが横ばいなため、変わらないと判断した。	
ゴルフ場			予約状況から判断するとあまり変わらない。	
レジャー施設			客数が上昇傾向である一方、客単価は減少傾向にあるため、結果的に変化は大きく感じられない。	
理・美容店			売上げは横ばい。8月は売上げが増加したが9月は売上減少なので、トータルで横ばい。	
住宅販売会社			特に変わらない。	
企業	農業関係者	最近の天候不順が、農作物に影響しているため、若干売上げの伸び率が昨年より低い。		
	製造業(食料品)	売上げが伸びないため変わらないと判断した。		
	製造業(食料品)	必要な買物はするが、それ以外は消費が固い。		
	製造業(食料品)	魚類缶詰(サバ、イワシ)の供給過剰状態が持続しており、末端販売価格競争は更に激化している。		
	建設業	発注量は増加傾向だが、現状は受注までには繋がっていない。		
	建設業	建築着工件数が少ない。		
	金融業	設備投資及び運転資金等の借入に対し、依然として慎重な姿勢は変わらず、景気回復までには至っていない状況だと思慮致します。		
	保険業	一部の企業は良くなっているところもあるが、全体としては変わらない。		
	不動産業	大きな変化はない。来店客数が少ない気がする。		
	火力発電所	販売量は前月並みのため、変わらないと判断した。		
雇用	人材派遣業	3か月前と企業窓口担当者のコメント内容が変わらない。(生産量変化なし、増産、減産依頼なし。)		
	民間職業紹介業	職種を問わず中小零細企業からの求人募集は相変わらず多いが、反面、求職登録者があまり伸びない。		
	学校就職関係者	昨年度同期と同様、求人数は多いと言えるが、特に変化は感じられない。高校卒業後の進路として無理して進学(専門学校等)を望まず、就職に流れている傾向が感じられる。		

やや悪くなっている	家計	スーパー	8月の雨が多く、夏の気温としては低い日が多かったため涼味商品等の動きが例年より悪かった。また、夏の低温の関係で農作物の作況にも影響が出ており、一部の農作物の相場が上がり消費にも影響しているところがある。
		コンビニエンスストア	近辺の公共事業の道路工事が終わり、客数が減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		農産物直売所	目の前の道路の通行台数が少ない。
		小売業（菓子類）	当店の売上げは前年比とほとんど変わらない。客は、冷夏（長雨）の影響が出ているように見える。
		小売業（薬品店）	雨天の日が多く季節商品の動きが悪かった。
		小売業（薬品店）	景気が悪いのでやや悪くなっていると判断した。
		割烹料理店	今までは、忙しくないながらも金曜日は予約なしの客が来てくれていたが、最近予約が入っていないとさっぱりだ。
		日本料理店	昼、夜ともに客の来店にばらつきがある。先日、夜の会食に来店した客が賃金カットがあり、飲みに行く機会が減ったと言っていた。
		レジャー施設	商品の問い合わせ、商談が少し減っているからやや悪くなっていると判断した。
		理・美容店	客単価が下がっている気がする。サービス業に支出できるお金が減少している気がする。
悪	企業	製造業（電気機械器具）	夏以降、受注が減少している。
		運輸業（道路貨物運送業）	8月が過ぎ、物の流れが活発化するはずであるが、ぱっとしない動きである。相対的に仕事量が減少している。
		内装工事業	仕事があっても継続性がない。将来に不安がよぎる。
		サービス業	季節的要因ではあるが、夏季休暇の影響があり受注件数が低下している。自動車関連について、電動化や自動運転技術開発にシフトしたようで、従来継続的であったリピート案件が減少している。
悪	家計	農産物直売所	春はメロンが直売所の売上げを占めるが、メロンの時期が終わったので悪くなっていると判断した。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野		
良	-	-	
やや良くなっている	家計	スーパー	売上げ、客数、客単価など今年に入って前年を一回も下回っていないのでやや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	ホテルからの依頼が増加したので、出張の際、前乗りしている人が増えていると思われる。
		ゴルフ場	来場者からコンペの会食内容を良くして欲しいとの要望が多い。接待利用が増えているようだ。
		設計事務所	仕事の依頼が増加しているため、やや良くなっていると判断した。
	企業	製造業（その他）	取引先の注文数量が増加したため、やや良くなっていると判断した。
		建設業	3か月前は全く仕事がなく、親戚の会社の手伝いをしていた。今は1か月先まで仕事の予定が入っており、一安心している。よって景気はやや良くなっていると判断する。
		不動産業	3か月前より賃貸の客が増加している。投資物件の問合せが増加している。
	雇用	求人広告	地元エリアの顧客数社が、前年より売上が伸びていると話している。
		公共職業安定所	新規求人数が増加傾向であることや新規求人倍率も1.3倍前後で推移しているため、やや良くなっていると判断した。
		求人開拓員	企業からの新規求人掲載依頼が増加している。
変わらない	家計	スーパー	売上げ、客数ともそれほど変わっていない。
		スーパー	客単価、点単価(売上げ÷点数)に変化がないため、変わらないと判断した。
		コンビニエンスストア	客の買い方の様子を見ても変化がないように感じられるため、変わらないと判断した。
		百貨店、総合スーパー	当施設では、前期も好調に推移し継続している。レストラン売上げや旅行等のサービス売上げも好調。余暇への支出が安定していることから、景気は順調だと思う。
		小売業（生花店）	客のほとんどが固定化してきており、新規の客が増えることはほとんどない。
		ホームセンター	季節的要因を除くと客数、客単価に変動がないため、変わらないと判断した。
		小売業（米穀）	3か月前と比べると変わらないと思うが、一年前の同時期と比べるとやや悪くなっているように思う。
		寿司店	客の来店数にほとんど変化はないが、客単価は減少傾向が続いている。景気が良くなっている実感はない。
		都市型ホテル	3か月前と企業の宴会受注状況は変わらない。個人需要も婚礼受注やレストラン等もあまり動きがなく3か月前と変わっていない。宿泊においても動きが見られない。このことから3か月前と比較して変わらないと思われる。
		都市型ホテル	宴会、レストランにおいては、やや良くなっているが、宿泊がやや悪くなっておりホテル全体でみると変わらない状況である。
		旅行代理店	旅行業者として、客や他業種の人々とのコミュニケーションの中で、どうしても季節的な景気の浮き沈みがあり、平均するとプラスマイナスゼロで変わらない。
		タクシー運転手	前年比とあまり伸びが変わらない。また人の流れも変わらない。
		タクシー運転手	客との会話の内容で変わらないと判断した。
		タクシー運転手	日中の乗車回数が少なく、シルバー層の近距離がほとんどで、法人関係者の利用増加が見られない。夜間の飲食店迎車も横ばい状態である。
		タクシー会社	特に変わらないと思える。
		サービスエリア	平成29年2月の茨城県内圏央道全通以降に変化した常磐自動車道の交通量の傾向は特に変わっておらず、各エリアの入館者数も変化したままである。高速道路特有の傾向のため、一般社会の景気状況の指標にはならないが、当商業施設のお客さまの動向を見る限り、入館者数の減少はあるものの、各個人の購買意欲は相変わらず高い率を示しており、交通量の増加したエリアにおいても、それなりの売上を示していることから、前回同様特段の景気の変化はないと判断した。
	ゴルフ場	予約状況や客足から見てもそれほど大きな変化は見られない。予想外だったのはそれと予想されていた台風18号が戻ってきたことだった。集客には大きな痛手となった。	
	工場見学案内	見学来場者によるギフトショップでの売上げが2017年4-6月では前年比135%と好調に推移。直近の7-8月も同126%と2桁増を継続。(伸び率が鈍化しているがそもそも売上げの高い月であり高い伸びは見込めない。)一方、4-8月の売上好調は販促効果もあり、また、(旅行代理店が催行しツアー料金が発生する)団体客は4-6月前年比115%に対し7-8月97%と停滞。以上により景況は完全に上向きとは言い難いものの、比較的高水準で推移した4-6月の景況を維持しており、変わらないとの回答とした。	
	レジャー施設	夏の間、気温があまり上がらなかったものの、雨天が多かったためかトータルでは、例年比でも客足に変化は見られなかった。	
	理・美容店	季節的な要因をなしにしても、そうは変わっていないと思う。(今後の世界情勢によって地味が変わってくるのかも知れない。)	
住宅販売会社	7月の集客は非常に多かったが、8月になると急激に減少した。		

変 わ ら な い	企業	農業関係者	9月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年6月期～と比較すると両者ともにほぼ変わりはない。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	今年7月は暑かったが、8月冷夏となり、夏物の商戦にもだいぶ影響があったようです。当社のような食肉製品には前年と変わりありません。
		製造業（飲料）	変化はない。
		製造業（家具・装備品）	客は来てはおりますが格安品の割合が多く、高級品は全く売れず売上げが低迷しております。近年は横ばいで毎日が暗いです。
		製造業（窯業・土石製品）	例年と比較すると、発注工事が少ない。
		製造業（非鉄金属）	自動車の販売状況に急変なく 生産面もあまり変わらない。
		運輸業（倉庫業）	貨物の動きが低調気味。食品・化学工業品全般が前年より下回っていたが、若干回復しているため変わらないと判断した。
		金融業	各業種における業況は3か月前と特段の変化はないように見受けられる。新規事業の進出も少なく、企業誘致も進んでいない。平成27年9月24日に駅前ビルに土浦市役所が移転したが、特段の経済効果波及には至っていない。企業の設備資金の需要も少ない状況である。
		不動産業	来客数、ネットの間合せ数、成約数にあまり変わりはない。
雇用	人材派遣業	良くなっていると感じるが実際は、人材不足の影響が大きい。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	百貨店、総合スーパー	8月は特に天候不順のため、夏物商品の動向が悪く、衣料品を中心に売上低迷。食品に関しても涼味の売上げが悪く、店全体の売上げが大きく落ち込む。客数も昨年に対して毎月減少している状況。
		スーパー	冷夏の影響で売れるべきものが売れない。
		家電販売店	入店客数が減少している。
		農産物直売所	長雨、日照不足、低温が続く野菜の出荷がいつもより少ない。
		和食食堂	毎年8、9月は、観光客が減少する。
		日本料理店	夏が終わり中休みなのか、毎年9月の夜は暇である。
		洋食食堂	持ち家を売りに出している知り合いが古家をそのまま50～60万ぐらいの値で買ってもらった。東京で弁護士をしている知り合いの息子さんは景気が良く、車も高級車を買いました。取手は大手映像機器メーカーの客からの話で、柏方面での食事会が多いとのこと。
		ボウリング場	天候不順により野菜等の高騰。衣類等の販売不振などがあり、景気は下降気味と思われる。
		企業	製造業（食料品）
建設業	見積り依頼が前年と比べて減少している。		
悪	家計	理・美容店	売上げが上がっていないので悪くなっていると判断した。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野		
良	家計	ラーメン店	町おこしをしているので下館ラーメンとして町の皆さんに愛されています。
		商店街代表者	季節(シーズン)が冬になるので、高額商品の売上げに期待する。
	家計	日本料理店	7, 8月の天候が悪かったためか、遠出せず近場での飲食の機会が増えた。
		ドライブイン	来店客数が増加傾向にあり、贈り物に使える品物の問合せが増えている。
		ゴルフ場	ゴルフシーズンに入り、例年に比べ値上げにもかかわらず予約状況が良い。購買傾向も上向きである。
	企業	製造業(化学工業)	エレクトロニクス関連の一部分野で需要が旺盛。
		製造業(窯業・土石製品)	現時点では少し忙しい状況だが、仕事量がたくさんあっての忙しさではなく、飛び入りの注文がたまにだけのこと。今は全員分の仕事があるが、10日、20日、1か月先の仕事が入る予定は全く不透明なのが現状である。同業者は仕事がないと愚痴を言うのが挨拶代わりになっている。
		製造業(金属製品)	仕事の依頼や予定の話が多くなってきた。
		製造業(電気機械器具)	受注増による増員要請は継続しており、事業所全体に繁忙感がある。
	雇用	求人広告	飲食店の顧客で集客が改善してきたなど、厳しいながらも景気の良い話が出てきた。スタッフを新たに募集するなど仕事に直結する話も少し増えた気がする。ただし、ものすごく良い状況ではないが悪いながらも改善はしていると思われる。
求人開拓員		職に就いている人が多い。希望職種に就ける人の割合が多いように感じる。	
変わらない	家計	商店街代表者	格別に「悪くなった」「良くなった」と肌で感じることは何もない。
		スーパー	営業数値上では大きな変化はない。
		自動車販売店	新車販売台数に変化はない。
		農産物直売所	売上額が、ほぼ横ばいで推移しているので、変わらないと判断した。
		ホームセンター	客数、客単価とも大きな変化はなく、商品動向を見ても特に大きな変化はない。
		ラーメン店	前年比と変わらない。
		タクシー運転手	デマンドタクシーの利用が多いのでタクシーを乗る人が少ない。
		ドライブイン	来場者数は微増であるが、客単価は横ばいであり、景気が良くなっているとは思えない。必要な物しか購入せず、ついで買いがほとんど見られない。
		ゴルフ場	予約状況より変わらないと判断した。
		レクリエーション施設	おおよその客が常連の人々で、あまり目立った様子は見られない。今年は天候が悪い日が続いているが、現時点では大きく影響しているようには見られない。
	商店街代表者	売上げが横ばいなため、変わらないと判断した。	
	住宅販売会社	変化は感じられない。	
	企業	農業関係者	前年度より持続的に景気は向上傾向であると判断しているため現状維持と推測する。前年度より大型機購入者は多いと思われる。(300~800万円)
		製造業(食料品)	売上げが増えていない。
製造業(窯業・土石製品)		特需等もなく、売上げや操業率もほぼ変わらない。	
製造業(印刷・同関連業)		今年の夏は、7月は猛暑で8月のお盆の頃は少し涼しくなり、暑さ厳しき中にも、週によって波があった。仕事柄、9月から売上げが上向き、10月、11月と1年の内でも繁忙期を迎えるが、年毎に売上げが減少傾向にあり、業種的に売上向上を社員ともども考えているが、思うようにいかない。	
製造業(窯業・土石製品)		業績は良好だったが、季節性の売上増なので毎年のことである。	
製造業(金属製品)		受注高、コスト、新規引き合い件数、ロットの大きさ等全く変化はなく、設備の入れ替えを計画していたが頓挫しそうである。	
建設業 金融業		景気に対して特に変化がないため、変わらないと判断した。 どの業種に関しても、可もなく不可もなく安定している。	
雇用	人材派遣業	売上額は変わらない。	
	公共職業安定所	管内の8月の有効求人倍率は1.52倍と前年同月比0.45ポイント増加しているものの、介護、運輸及び製造業の一部で人手不足が続いている。雇用状況に活性化が見られない。	
	学校就職関係者	製造業及び建設・設備業からの求人は、例年より多く好調だと思われる。	

やや悪くなっている	家計	スーパー	毎朝、青果市場に仕入れに出掛ける。スーパー・八百屋・ディスカウントストア等の担当者や茶飲み話をするが、最近の売上げや景気の話がその都度話題になる。控えめな話ではなく、本音のように感じられる。事実、互いの仕入数量が少なく感じられる。
		コンビニエンスストア	8月から続いている天候不良と気温低下により客足が鈍ってきている。
		コンビニエンスストア	8月は天候が昨年に比べ悪く、客数や気温が高いときに売れる商品に悪影響を与え、厳しい結果となった。また、競合他社の出店による売上げの減少も大きく回復の見込みが見えてこない状況だ。
		家電販売店	入店数の減少や購入単価の減少からやや悪くなっていると判断した。
		和食レストラン	変わっていない。
		都市型ホテル	弊社の客層は高め。料理については質を大事にしているので価格は高めだ。そのためか、客足は減少傾向にある。限定食で低価格の料理をスタートさせたところ、皆そちらに引き付けられ、今は開店前から並んで待っている人もいる。ただ先月の天候不順により原材料は上がっているので厳しい現状に変わりはない。
		旅行代理店	ガソリン代(燃料)がとて高くなった。世界情勢が変化しているからこれからも大変だ。小売業の倒産が目立つ。旅行参加者が激減している。
	理・美容店	人手不足で仕事が増えても賃金が上がらない。	
	企業	農業関係者	預金利息がつかず、有価証券(国債等)の運用が回らない。貸付けも伸び悩んでいる状況。
		製造業(印刷・同関連業)	仕事量が、明らかに減少している。デフレスパイラルが止まらない。
製造業(印刷・同関連業)		毎年夏枯れの傾向はあるが、今年は特に低調のように感じる。輸出関係の出荷ラベル等が少なくなっていることからの判断。	
建設業		建設業なので天気に左右される。雨が多かったため仕事が進まず、工事の遅れが影響している。	
悪くなっている	家計	衣料品販売店	3か月前は衣替えの時期で需要があった。
		製茶販売	良くなる要素がない。皆が出し渋り(本当に出せないのかも知れないが)、余計に景気が悪化。
		和食食堂	来客数、デリバリーともに減少しているが、特にデリバリーの落ち込みが激しい。
		旅行会社	例年9月は悪い。6月頃と比較してしまうと、業種的には仕方のないところ。
		タクシー会社	営業収入が大幅に減少し、タクシー利用者の客離れが続いているため、悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	深夜の利用客が益々減少し、営業回数も少なくなっている状況が続いている。
		タクシー運転手	乗り合いタクシーが増え、昼間の客が減少した。夜は代行ばかりだ。
		クリーニング店	天気が不安定のため、物価の値上がりが多く、消耗が鈍く感じる。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（精密機器）	新しい製品の発注が入ってきましたので来年は良くなると思います。タイミング的にはモデルチェンジなのでわかりませんが、先行きは明るいですが、しかし車関係はまだまだ不明です。
		運輸業	毎年、運送業界は今年辺りから年末にかけて、景気が良くなる。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	年末年始に向けて受注が増加している。
		スーパー	今の良い状況が続くそうなのでやや良くなっていると判断した。
		小売業（燃料）	悪くなる要素はないと思うので変わらないと判断した。
		小売業（時計）	高額商品は期待できないが、少しずつ上昇ムードなると思われる。
		ラーメン店	新事業（製造業）を開始したので、やや良くなっていると判断した。
		スナック	ボーナス支給の頃、忘年会をする人はまだまだ多いと思うので、やや良くなっていると判断した。
		食堂	大型ホームセンター帰りの客が寄ってくれる。また、海浜公園の人がネットで調べて来る。
		観光型ホテル	特別な理由等はないが、漠然とそう思った。
	写真店	客数を伸ばすため広告を活用した結果、問合せ数が以前より増加している。新規の客も来館してくれる。	
	企業	林業関係者	年末にかけて需要があると思える。消費税増税を視野に入れてなのか、住宅着工が増加している。
製造業（電気機械器具）		当面、半導体関連の顧客からの注文増への対応が継続しそうである。	
製造業（電気機械器具）		2017年上期よりも下期にかけて、受注量が更に増加する傾向にある。	
運輸附帯サービス業		11、12月でも休日振替があり、繁忙になると思う。	
変わらない	家計	スーパー	客単価の状況を見ると変化がない。
		酒・各種商品小売業	業種上、地域の繋がりや義理により商品が売れるため、3か月ほど度ではそれほど変化がないと思われる。ただし、年単位となると大きく変化すると思う。
		コンビニエンスストア	客単価・買上点数がすぐに好転するとは考えにくいので、変わらないと判断した。
		衣料品販売店	今後も変化なし。
		自動車販売店	消費拡大される要素がない。
		農産物直売所	景気が良いとは感じられない。
		小売業（弁当・惣菜店）	特に大きな変化は感じられませんが、企業、業界によっては景気は悪くないとの話題が出ています。
		小売業（酒類）	アルコール飲料離れが厳しい。
		小売業（水産物）	このところ、高価な商品よりも安価な商品を購入しているように感じる。
		レストラン	先の景気が分からないので財布の紐はより固くなると思う。また高齢者が多くなっていて、一人で外に出られないようだ。
		ラーメン店	各自が今の状況に合わせたライフスタイルを築いていると思う。
		観光型ホテル	前年同期と比較して宿泊予約は順調に推移しているが、日帰り利用の予約は減少している。総合的には、景気は変わらないと判断する。
		タクシー運転手	現在のところ衆院選が本決まりになり政府は消費税を10%にする公約を第一に掲げ、もし与党が勝てば増税は実行されるだろう。もちろん増税はタクシーにとっても痛手になるだろう。しかし、これからの3か月先の景気ということ言えば衆院選中の独特の雰囲気はあるものの、増税がされていなければ景気は変わらないとするのが妥当だろう。
		ドライブイン	消費者の購買欲があまり高くないことと、毎朝楽しみにしている連続テレビ小説の「ひよっこ」が終了してしまうので、県北が寂しくなる。
		レジャー施設	周囲に景気を左右することが見られないため、変わらないと判断した。
		ゴルフ場	ゴルフ場の入場者は減っているが宿泊のみ2年先の国体関係で宿泊人数が増加しているため、売上げ的にはプラスマイナスゼロ。よって変わらないと判断した。
		ゴルフ場	国際情勢・選挙関係の行方次第で市況は変化するが今のところ、県北ゴルフ市況は前年並みになる。
		ゴルフ場	良くなる要素も今のところないため変わらないと判断した。
ボウリング場	年末の多客期で、子供会を中心とした団体利用客が多くなる時期ではあるが、一般利用客の数は例年並みに推移すると予想される。目立った景気の回復は実感できないと思われる。		

変わらない	企業	水産業関係者	兆候等は見られない。
		製造業（電気機械器具）	生産拠点が海外へシフトしており国内製作案件が徐々に低下しているため、変わらないと判断した。
		製造業（電気機械器具）	前年と比べ、特に変わった傾向は見られない。
		製造業（食料品）	現状とあまり変わらないと思う。客の動きは変わらず買物に慎重に見える。スーパー担当者は「売れないんだよな。」と言っている。
		製造業（化学工業）	景気対策が浸透せず個人消費が伸び悩んでいるため、変わらないと判断した。
		製造業（一般機械器具）	来客数に大きな変化は見られないため、変わらないと判断した。
		製造業（輸送用機械器具）	今の状況に大きな動きはないと予想される。
		金融業	先行き不安感はあるものの、地元商工業者は団結して活性化に取り組んでおります。人口減少や事業所数の減少をカバーすべく努力している様子から常態での推移が見込まれます。
		不動産業	商品を購入を後押しする材料が見当たらない。
		情報通信業（情報サービス業）	商談は増えてきているものの、思ったより受注には結びつかず、しばらくはこの状態が続くと思われる。
雇用	求人広告	景気の良い動向も特定の業種・企業に限られていて、それが全体に広がるにはまだ時間が必要。	
	公共職業安定所	新規大学卒の採用が予定通り進まず、人手不足が続く。	
	学校就業関係者	判断材料がない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	今夏の異常気象から、食品の値上がりが続くことが予想される。収入増の要因がない中で、食費支出が増えれば、その他の消費に悪影響があると考えられる。
		スーパー	レジャーなどは増加傾向でも、毎日の買い物については、節約型になりつつある。衣料品なども同傾向。
		旅行代理店	団体の宿泊旅行が減少し、個人旅行は格安ツアーに集中しているので売上げとして減少傾向になり、やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	市内の大手から中小企業まで残業規制が大変多くなっている。特に大手企業の深夜の残業規制の徹底ぶりが際立っている。そのような状況なのでタクシーの深夜の仕事がとて減少している。
	企業	製造業（食料品）	資材高騰の影響により、3か月後は現状よりもやや減収予想。
建設業	取引きの資材販売業者の話では、県内は低調だと聞いた。当社も先行きは明るいとは言えないので、景気は悪くなっていると思う。		
雇用	求人開拓員	例年だとこれから年末までの間、各メーカーが新製品発売に向けての求人が増えてくる時期だが（大手電器メーカー等）まだ増産等の計画の声は少なく感じる。（地元は下請企業が多い。）不安材料が多すぎて良くなる判断ができない。	
悪	-	-	-

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ペット美容室	季節柄(年末)から良くなっていると判断した。
	雇用	公共職業安定所	景気の先行指標である新規求人数は、前期比・前年度比とも増加傾向である。窓口に来所した採用者に増員のための求人なのか、欠員補充のための求人なのか尋ねると増員と答える割合が製造業を中心に高い。また設備投資を進めている企業ほど正社員の採用が旺盛であり、新規急進数はまだ増加する余地がある。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	テレビやインターネットで話題の商品や流行に対しての支出は今後も増加すると考えられるので、今夏のような天候不順がなければ、良くなる要素の方が多いと考え、やや良くなっていると判断した。
		レストラン	選挙で市場が活発に動きそうである。
		割烹料理店	3か月先は忘年会の時期なので、今よりも良くなると思う。
		観光型ホテル	先行予約が順調である。地政学的なリスクがなければしばらくはこのまま推移するのではないかと思う。
		バス運転手	クリスマス、忘年会シーズンが来るので、乗客が多くなるのではないかと思う。
		ドライブイン	秋の観光シーズンは、紅葉や近隣施設(海浜公園のコキア)を見に行ったり等、地元は通過するかも知れないが、それでも来てくれたらと期待をしている。
		レジャー施設	期待を込めて「やや良くなって」欲しい。9月から秋行楽本番に向けて「茨城への関心」が高まると思っている。
	理・美容店	12月は年末なので忙しくなるはずだ。ならなくては困る。最近、いろいろと厳しい。	
	企業	農業関係者	地元の観光イベント等の開催があり、商工関係者は観光客が訪れ、潤うのではないかと思われる。
		製造業(食料品)	観光事業においては行楽シーズンとなるため、やや良くなっていると判断した。
製造業(印刷・同関連業)		当社は年末にかけて忙しくなってくる時期なので、やや良くなっていると判断した。	
雇用	人材派遣業	今後も人材不足が続く。	
	求人広告	そろそろオリンピックや国体の恩恵が欲しい。	
変わらない	家計	商店街代表者	変化を感じるような事柄が見当たらない。
		商店街代表者	悪いまま変わらないと思う。
		百貨店	3か月先の12月はクリスマスや歳暮、年末商戦で来店客数、客単価が伸びると予測されるため、やや良くなっていると判断した。
		百貨店	直近の8月は比較的涼しかったため、秋物の動き出しが良く、一見上向きにも思われるが、客の買物は慎重でセール中心のため、なかなか変化は表れないと思っている。
		スーパー	北朝鮮の影響などがあると考えますが、3か月後以降だと思うので変化はないと思う。
		スーパー	衆議院の解散がありそうだ。また良くなる話題がない。異常気象で気分も落ち込んでいるためか、財布の紐は緩まない。
		スーパー	購買意欲、消費促進に繋がるような与件が期待できない。
		スーパー	天候の影響なのか、景気の影響が解らないが、売上げが伸びていた時計、貴金属が8月になって鈍化した。こういった余暇関連商品が売れないと3か月先にも期待が持てない。
		自動車販売店	1～8月の前年比でもほぼ横ばいのため、変わらないと判断した。
		農産物直売所	予約状況に変化がない。
		レストラン	昨年と変わらない。
		レストラン	予約が大きく動くこともなく例年並みで変わっていない。
		都市型ホテル	特に変化が感じられない。
		旅行会社	北朝鮮からのミサイル発射や水爆実験等、旅行に行っているところではない。
		タクシー会社	例年10月から年末にかけて売上げが増加する。特に悪化する要因が今のところ見受けられないので、例年通りの推移となるものと思われる。
		タクシー会社	県内の景気動向から若干の上向傾向はあると思われるが、県内外の人の流れに大きな変化はないものと判断します。
		観光名所	これから行楽シーズンに入り、売上高、客数、ともに伸びることを期待はしているが、例年以上に伸びる要素が見当たらない。物の値段が軒並み上昇しているのに対し、給与がそれに伴って伸びていないので、今後消費税が増税するとなると買い控えが更に進むのではないかと懸念される。
		ゴルフ場	客からの予約数に伸びが見られない。当社の地域にある同じ企業と比較してプレー料金の割高感が影響しているのかと思料している。
		ゲームセンター	業界として今年は大型の新規タイトルや売上げが見込める景品がすくない見込みのため大幅なアップということはないと思われます。
		スーパー銭湯	残暑を期待したが秋の到来が早く、出だしから期待が外れている。秋の各地のイベント開催による集客・紅葉シーズンの11月に期待するところだがムード的には財布の紐は固いと思われる。
レジャー施設	問い合わせもないので変わらないと思う。		
住宅販売会社	解散・総選挙の結果次第では、株価に影響が出るかも知れない。		

変 わ ら な い	企業	製造業（窯業・土石製品）	受注が横ばいで推移している。
		製造業（金属製品）	受注に繋がりそうな見積りや計画がある程度あり、忙しい状況がしばらく続くと思われる。ただし、原材料、副資材、消耗品等全てが高騰しており、価格への転嫁が課題である。
		製造業（一般機械器具）	電気製品等、作る物がない。
		製造業（精密機械器具）	直近の状況も当社にはハイレベルなので、それを維持することに専心する。
		建設業	身近な堅実な物に経費をかけるので、贅沢には見向きもしないようだ。
		運輸業（道路貨物運送業）	貨物の動きは織り込み済みの推移になると思われる。
		サービス業（広告業）	年末商戦に入るため、1年で一番多い広告発注がある。
		サービス業（コンサルタント業）	景気の動向が変わる様子がないため、変わらないと判断した。
	雇用	学校就業関係者	大学生の求人情報の求人単価が安定しているため、変わらないと判断した。
求人開拓員		有効求人数が増加傾向にあるが、正社員よりも非正規が依然多い。正社員求人の昇給、賞与においては、いずれかまたは、両方なしの募集が多く見受けられる。当センターへの求職者数は減少傾向にあり、紹介状の発行件数も少なくなっている。キャリアカウンセリング件数（内職相談件数を含む）も減少傾向である。尚、就職決定者は増加傾向だが相対的には減少気味である。以上のことから、今後3か月先も同様の傾向が続くと判断する。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	原料が高騰している物が目に付くため、若干利用が落ちている。
		楽器販売	部門ごとに売上げの推移を見ているが、低価格の買回り品はますます堅調だが、高額品の動きはすこぶる鈍い。この辺りからも年間での推移は良くなる傾向に傾くとは今一つ想像できない。
		都市型ホテル	年末に向けての予約が伸びず、この先大きく好転する予想がなく、状況は現在より若干低下すると思われる。
		旅行代理店	向こう3か月の受注件数の伸びが鈍化傾向にある。その意味でも景気はやや悪くなっていると思う。
		タクシー運転手	景気回復を望めない地元において利用客が増加することは期待できない。3か月先もこの傾向は続くと思われるので景気はやや悪くなると思う。
		建築設計事務所	設計業務は改修設計等の小規模で難度が高い業務を拾っていく傾向にある。当面は小規模高難度の仕事しかないように思える。
	企業	製造業（食料品）	今のままの冷めた感じが続くと消費も低迷するのではないだろうか。
製造業（印刷・同関連業）		価格下落が予想される。	
不動産業		年々件数が伸びない。地元にあった支社支店等が県南等に移転しているため、事務所ビルの空きが増えている気がする。	
悪	-	-	-

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	小売業（食品）	米の価格が少し上昇した。景気も良くなるのではないかと思う。
		洋食食堂	売上げは通年でも112%と好調。人員の確保さえ可能ならこのペースが続きそうだ。
		観光型ホテル	宿泊予約者数が少し増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		運転代行	売上げが伸びてきた。
		タクシー会社	新しいプラントの仕事がこれから本格的に始まるのでやや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	ゴルフシーズンに突入し、コンペ予約が増加している。
		レジャー施設	客数は上昇しているため、この流れで客単価が上昇すれば売上げが増加するのではないかと思う。
		住宅販売会社	来店数の増加が続いているため、やや良くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	景気は上向き傾向の中と思われ、消費者の購買意欲も高まって来ており徐々に売上げに貢献するものと思われる。
		製造業（化学工業）	当社業績は今後も上向き見込みなので、やや良くなっていると判断した。
製造業（食料品）		良くなって欲しいのでそう回答した。	
製造業（電気機械器具）		新規の引合いがあり、10月より納入予定がある。	
保険業	米、さつまいも等、農産物の価格が上昇している。		
変 わ ら な い	家計	商店街代表者	景気を押し上げての強調材料も当面は見当たらず、しばらくは現況で継続していくと思われる。
		スーパー	天候が安定し、一部青果の相場高も収束に向かい、売上げ等が回復傾向になると思われる。しかし、同業の出店のみならず、異業種の出店等が重なり、オーバーストアの状況が続き、消費者の可処分所得が減少傾向なので、大きな期待はできない。
		コンビニエンスストア	各商品群の中でもプレミアムと名の付く、より高価な物の伸長が比較的良好のため、大きな外部要因がなければこのまま続くと思われる。
		コンビニエンスストア	大規模な工事等の情報が入って来ないため、変わらないと判断した。
		衣料品販売店	交通の便が良くなれば都会に行きやすいので、土、日曜日の客数はだいぶ減っている。年末も売上げが見込めない。
		家電販売店	第一四半期から第二四半期にかけての数字を見る限り、景気の向上は考え難い。
		農産物直売所	変わる要素がない。北朝鮮問題も含め、もしかしたら悪くなっているかも知れない。
		農産物直売所	例年通りの客数のため、変わらないと判断した。
		小売業（菓子類）	12月頃になれば冷夏のマイナス要因はなくなる。しかし、特に良くなるとは思えない。
		小売業（薬品店）	3か月という短いスパンでは判断できないが良くなっていく兆候は見られない。
		小売業（書店）	客にとってお得になるキャンペーンを企画しても受け入れられない。
		和食レストラン	現状は好転の要因がない。北朝鮮問題や自然災害多発で不安がある中、本格的な景気回復はまだ見えないと思われる。
		割烹料理店	時期的に忙しくなると思うが、例年、予約客のみで終わってしまうので、フリーで来店する客が増加しないと売上げは良くならない。
		日本料理店	地元は企業で成り立っている。その企業全体が自粛をしているため、3か月先も景気は良くなっているとは限らない。
		観光型ホテル	3か月先の予約状況、内容を見ても変動を感じない。
		タクシー運転手	アリーナ建設住民投票や市長選挙があるので変わらないが、人の動きが鈍ると思うので少し悪くなるかもしれない。
		タクシー運転手	変わらないと思う。これから寒くなるが一般の人は疲弊しきって、じっと家にこもっているような気がする。余計な金は使わない。
		ドライブイン	様々な要素から目立った変化は期待できない。
		理・美容店	秋からは客単価は増加するが、来店サイクルは延びるので変わらない。むしろ、良かったと思える位だ。
		クリーニング店	年末なので少しは良くなると思うが、将来に不安があるので節約志向である。
住宅販売会社	変わる兆候がない。		

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	消費の厳しさは感じなくなっている。最後は中小企業の給料が上げられるかだと思う。
		製造業（食料品）	「日本国内産鯖原料使用」と明示した海外産缶詰の輸入が増加しており、また国産品との競合もあり低価格志向が持続している。
		製造業（金属製品）	受注など多くなっても、生産活動に参加する人員が不足する。
		建設業	3か月後(年末)に向けて発注が増加すると思うが、今後の見通し的には受注増は難しい。
		建設業	既存の古い家の完全なリフォーム(柱だけを残し全体をリフォームするので仕上がりは新築みたいになる)の注文が微増している。
		運輸業（道路貨物運送業）	地方での消費動向は決して良くない。国際的な政治の緊張や自然災害があり、株価、為替の変動が激しく安定性がない。
		金融業	設備投資及び運転資金等の借入に対し、依然として慎重な姿勢は変わらず、景気回復までには至っていない状況だと思慮致します。
		不動産業	先行きが不透明で良くなる要因が見当たらない。
		内装工事業	3か月後の景気を考えるとこれ以上悪化しないように願うだけだ。
		サービス業	第三四半期は年度の折り返しとなり、客の下期予算が確定する。前3か月よりは持ち直すと考えられるが、例年並みと予測している。
		火力発電所	好転の材料が見当たらない。
雇用	民間職業紹介業	状況は変わらないと考える。	
	学校就職関係者	中小企業等では人材不足と言われるが、求人情報の内容に変化がないように感じたため、変わらないと判断した。	
	求人開拓員	買回り品等の消費は伸びていると思うが、店員に話を聞くとやや高額商品等については(家具や家電品等)、客数や単価が減少傾向にあるとのことだった。最近、量販店の様子を見ると出店数は増加しているが、客数は減少しているようである。	
やや悪くなっている	家計	小売業（薬品店）	景気が悪いのでやや悪くなっていると判断した。
		小売業	宅配運賃の値上げや、人件費の高騰等、利益を上げるのが厳しくなっているので景気はやや悪くなっていると思う。
		レジャー施設	客の購入意欲が薄いように感じる。
		理・美容店	良くなっている気がしない。来客数が減少している。
企業	製造業（食料品）	宅配業者の運賃値上げや人件費などのコストアップで利益減少になると思われる。	
	人材派遣業	1. 先の見通しが期待薄の声。2. 増産時に伴う増員要請なし。3. 雰囲気的に活気が以前に比べない。	
雇用	公共職業安定所	求職者が減少傾向にあり、人手不足の職種の充足が困難であるため、やや悪くなっていると判断した。	
悪	-	-	-

(4) 県南地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計		
やや良くなっている	家計	スーパー	売上げ、客数、客単価など今後も前年は下回らないと思われる。現在において下がる要素が見当たらない。よってやや良くなっていると判断した。
		農産物直売所	れんこんの収穫が本格的になり、年末に向けて(お歳暮)の売上げを期待している。
		旅行代理店	常連客には引き続き、日帰り、1泊、2泊の旅行を実施の方向で進めていく。また、新規顧客の予約が数件入っており、多少上向くと思っている。
		タクシー運転手	車庫の近くで、大型倉庫の工事が始まった。人の出入りが多くなり、動きが良くなった。
		タクシー運転手	ホテル、工場、研究所からの依頼が増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	予約受付開始日に、申込みが殺到するようになってきた。接待利用が多くなったためと思われる。
		レジャー施設	秋季にイベントが集中しているため来客増が見込める。ただ、冬季に施設改修を控えており、冬季売上げは前年比減少の見込みである。
		設計事務所	今のところ新規の問合せも多いため、やや良くなっていると判断した。
	企業	建設業	年末はいつものように仕事が多くなる。今年は今から見積依頼がたくさん来ている。この状態が続けば、昨年よりも仕事量の増加が予想される。よって景気はやや良くなっていると思う。
	雇用	人材派遣業	オリンピック選手村、自動運転関連、IoT関連の動きが活発になり、今後は良くなっていくと思われる。
公共職業安定所		求人数が増加傾向である反面、求職者数が減少傾向なので、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	今後もそれほど変わらないと思う。
		スーパー	地元エリアに関しては、新規人口増加の鈍化やシニア層の買い控えが続くと考えている。
		コンビニエンスストア	特段、世の中の変化があるように思えないため、変わらないと判断した。
		百貨店、総合スーパー	県南エリアは人口も増加し、かつ圏央道開通により交通アクセスも改善している。行動範囲も広がることから景気は現状と変わらずに推移すると考える。
		小売業(生花店)	景気上昇のファクターが少ない。
		ホームセンター	住宅は増加しているが、競合店も増加しているため、変わらないと判断した。
		日本料理店	会合、七五三、忘年会シーズンになるので今月よりは良くなると思っている。
		寿司店	ほとんど変化がないと思う。

変 わ ら な い	家計	都市型ホテル	インバウンドも以前より落ち着いたが、価格帯も安かったため、一般客の獲得やオンライントラベルエージェント(OTA)からも予約が入るので、あまり影響がないと思われる。宴会も先のオンハンドを見ても特に目立ったこともないので、景気も変わらないと思われる。
		タクシー運転手	客との会話の内容で変わらないと判断した。
		タクシー運転手	世帯人口数が横ばい。企業進出や店舗出店の目玉がない。接待らしき顧客乗車が少ない。
		タクシー会社	あまりぱっとした変化はないと思う。
		サービスエリア	常磐自動車道においては、交通量や入館者数の変動が今後も生じるものと想定されるが、お客さま個人の消費傾向についてはそれほど変化はないと思われ、今後3か月間においても特に影響のある事象は見当たらないことから、景気動向についてはとりあえず変化なしと判断した。
		ゴルフ場	季節的(オンシーズン)なことを除けば、好景気的な要因が見当たらない。また見つけることができない。
		工場見学案内	2017年7-8月のギフトショップの売上げの伸びは販促強化によるものが大きく、また、団体客の伸びも停滞している現状を考慮すると、9月以降の一段の伸びは期待できないと推察する。ただし、9月(6日現在)の来場客数、ギフトショップの売上状況は比較的順調に推移しており、4-6月の状況が一転して悪化するとも考えにくく、10-12月の景況は7-9月並みの好調が継続すると思われ、あるほど度の高水準での変わらないと判断した。
		住宅販売会社	7月の集客増が一時的なものだったため、直近3か月では変化はなさそう。
	企業	農業関係者	客全般における「買い控え傾向」は依然として続いている。
		製造業(食料品)	世の中北朝鮮の問題で株価等も不安定であり、落ち着きがありません。皆不安視しています。
		製造業(食料品)	景気の良くなる要素が見当たらない。
		製造業(家具・装備品)	所得の低い人口が多く、大企業の少ない当地方では良い道具を購入する家庭が少なくなりました。何とか前年費の売上げを守りたいと思っております。
		製造業(その他)	今月は注文があったが、先の注文数量の把握ができないため、変わらないと判断した。
		製造業(窯業・土石製品)	大型案件が少なくなってきた。
製造業(非鉄金属)		計画上は増産傾向であるが、自動車販売が円高等により落ち込む懸念があるので、プラスマイナスで変わらないとした。	
不動産業		繁忙期ではあるが、アパートローン等の事業融資の引き締め等で景気は横ばいだと思う。	
建設業		同業・取引先の話聞いても良い話はない。	
運輸業(倉庫業)		貨物の動きに変化は見られないため、変わらないと判断した。	
金融業		土木工事・建設業者等の一部の企業については、公共工事の需要もあるが、全体的には変化は感じられない。経済効果に結びつくような大型プロジェクトもほとんどないため、引続き現状ほど度にて推移していくものと思われる。	
不動産業	特に数値を動かすような環境の変化はなく、変わらないと思う。		
雇用	求人広告	県南エリア全体がよくなっている傾向はあまり感じられない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	長雨の影響(野菜、果物、米)やサンマ不漁など、生鮮品が苦戦の予想。
		家電販売店	入店客数が減少しているので、単価が上がらない。
		洋食食堂	去年より客数が減っているのと、ディナーのパーティ申し込み数がなく、ランチの客だけでは、酒類がオーダーなしで売上げは伸びない。パーティーも飲み放題をつけることになってしまい、良いのか悪いのか。
		都市型ホテル	宴会、レストラン、宿泊において予約状況があまり良くないため、やや悪くなっているように思われる。
		ボウリング場	良くなる要素が見当たらない。政治への不信感増。不安定感と将来に明るい見通しが見当たらない。
		理・美容店	今後の世界情勢や不適切な上の人々など、不安なことはいくらでもある。お金を使わない方向になっていくのは当たり前としか言いようがない。
		製造業(窯業・土石製品)	突然の総選挙が行われるとのことで、とても良くなるとは思えない。
企業	製造業(飲料)	夏も終わり寒くなると飲料が売れなくなると思う。	
悪	家計	百貨店、総合スーパー	3月からいろいろイベントを実施し、客数回復を図るが、毎月減少傾向。また、競合の新規出店があり、売上げの厳しい状況が続くのではないかと。
		小売業(米穀)	仕入価格が全国的に高騰している。特に事業者用の安価な物が異常とも言えるほどだ。仕入価格上昇分を販売価格に反映できず(値上げ交渉に応じてもらえない。また、取引停止が怖いので上げられない。)このままで消費税が上がると恐ろしい。
		理・美容店	世界情勢が不安定なので悪くなっていると判断した。

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	旅行会社	年間の中で最も忙しい時期なので良くなっていると判断した。	
やや良くなっている	家計	都市型ホテル	宴会等はあまり変わらないと思われるが、少しずつ仕出し、ケータリングの受注が増加している。まだのびしろがあるように思うので、期待も込めて判断した。	
		ドライブイン	リピーター客が増加傾向にあり、今後のイベントの間合せ等がある。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	現在、新規案件を抱えているため、それが軌道に乗れば多少改善に向かうと思われる。	
		製造業（印刷・同関連業）	業種的には、年末に向かって忙しくなる時期だが、地政学的(北朝鮮問題等)にどうなるのかなと思う。思いのほか株価が上昇し、上場企業の決算も良いところが多いので、多少は地方の零細企業にも恩恵が回ってくるのではと思う。	
		製造業（金属製品）	いろいろな業種から、仕事の話がある。	
		建設業	仕事もいろいろ多くなると思うので、良くなっていると思う。	
		不動産業	今まで間合せがなかった物件に間合せがある等、全体的な間合せ数が増加している。	
		サービス業（コンサルタント業）	期待を込めてそうなっていって欲しい。	
	雇用	人材派遣業	人材募集が多くなってきたので、やや良くなっていると判断した。	
		求人広告	オリンピック関連の話で建築業界や建設設備メーカーなど納期が間に合わないなど、足元で景気の良い話題が上がる様になった。今までは、そのような話を聞く事がなかったが忙しい企業が増えてきた。現在は一部の業種、一部の企業の話だが、全体に波及する可能性があると思われる。	
	変わらない	家計	スーパー	特に営業数値に変化があまり感じられないため、変わらないと判断した。
			コンビニエンスストア	周辺を取り巻く環境に変化はなく、厳しい状況が続くと思われる。
			家電販売店	商品購入のイベントや施策などが無いので変わらないと判断した。
自動車販売店			良くなる材料がない。	
農産物直売所			北朝鮮の動向で不安な面がある。	
ホームセンター			周囲の様子を見ても短期間で景気に変化がある要素がない。	
和食食堂			残念ながら良くなりそうな要素が見当たらない。	
日本料理店			良くなる材料が見当たらない。	
ラーメン店			良くなっていく要因が見当たらない。	
旅行代理店			年金の受取り額が年々少なくなっている。中高齢者の余裕がなくなっている。若い人は子育てが大変だ。教育費、特に塾代と学費が生活費の半分位かかっていると知っている人もいた。	
タクシー運転手			現状から変化はないと思う。	
ドライブイン			ガソリン・電気・ガス等のエネルギー関連の値上がりが懸念材料ではあるが、購買意欲はさほど落ちないと思われる。北朝鮮問題が3か月後には落ち着き、総選挙後の政局が安定し、しっかりとした景気対策を打ち出すことを期待したい。	
ゴルフ場			予約状況より変わらないと判断した。	
ゴルフ場		現状以上の根拠はないため、変わらないと判断した。		
理・美容店		日常に変化が見られない。来店サイクルも変わらない。長くなっている感じもある。		
商店街代表者		景気が良くなる兆しがない。		
住宅販売会社		3か月という短いスパンでは、顕著な動きは出ない。		
企業		農業関係者	前年度より持続的に景気は向上傾向であると判断しているため現状維持と推測する。借入相談等(住宅・農業機械)の間合せが平年より多くなっている。	
		農業関係者	日銀のゼロ金利政策が緩和されないため、変わらないと判断した。	
		製造業（食料品）	変わらず悪い。良くなる要素がない。	
	製造業（印刷・同関連業）	特に変わる要素が感じられない。地域経済に変化をと考えれば、まず官公庁が地元(税金を納めている企業)優先発注を明確に示すべきと考えるが、価格優先ばかりに走る現況を見れば、地元経済振興などは言葉だけのものであることは明白。		
	製造業（化学工業）	市場・顧客で大きな需要変動の具体的情報がない。		
	製造業（金属製品）	一部半導体関連は忙しそうであるが、他の業界の先は見えにくい。		
	製造業（電気機械器具）	長期的な変動予測は難しい状況ではあるが、当面継続すると思われる。		
	建設業	社会に動きの変化が見られないため、変わらないと判断した。		
	金融業	今後3か月では大きな変化は無いものと思われます。		
	雇用	公共職業安定所	今後も求人数は高止まりのまま推移すると見込まれる。ただし雇用状況については全体的な人手不足により拡大は難しいと思われる。	
学校就職関係者		特段良くなる要素も、悪くなる要素も今のところ見当たらない。		
求人開拓員		景気状況から、これからも就職の選択は良くなったままのように思う。		

やや悪くなっている	家計	商店街代表者	旧市街地、いわゆる町の商店街への来店客数は見込めないと思う。
		商店街代表者	世界情勢の不安定。その不安定さが日常生活に響いてきているように思う。
		スーパー	年配の客との会話で最近の世相が話題になる。政治や選挙等の話をするが、全く期待していない様子だ。将来に不安があるから、財布の紐が固いのだろう。
		コンビニエンスストア	近隣にドラッグストアやコンビニエンスストアがオープンし客数低下が予測される。最低賃金の改定により人件費が増加し店利益が減少。
		和食レストラン	雨の影響により、野菜等の原料高騰で利益率が減少し、3か月先もこの傾向が影響すると思われるのでやや悪くなると思う。
		タクシー運転手	夜の仕事が少ない。飲食店が閉店している。
		レクリエーション施設	特に第一次産業(農業、林業、漁業)において、天候に恵まれなかった影響が出てくると思う。また、社会情勢の不安定さにより、支出減になってくると思う。
企業	製造業(印刷・同関連業)	自社に限ってみると、経営が改善したり、景気が良くなる手だてが見当たらない。	
	製造業(窯業・土石製品)	季節性の影響により業績悪化が見込まれる。受注残の状況から推測して(季節性を除いても)好転することが期待できない。悪化の方向である。	
	製造業(窯業・土石製品)	売上げは今の半分くらいになると思う。これは我々業界の構造的な問題で他業界の景気が回復し良くなっても、当業界への恩恵、波及効果は他の業界よりも少ないと思う。	
悪くなっている	家計	衣料品販売店	年末近くになっても、客は個人の小売店ではなく、大型店に流れてしまう。
		製茶販売	良くなっているのは大手企業くらいで、皆が出し渋り景気が悪くなってきている。
		タクシー会社	景気動向は良いのか悪いのか解らないが、良くなる話はほとんど聞こえてこないため、悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	景気が悪いため、タクシー利用客があまり見当たらないので悪くなっていると判断した。
		クリーニング店	冬季ボーナスにより変わると思うが、お金を消耗するような感じはない。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	ミサイルや核実験など、北朝鮮の動向に対する国民の不安が増していると感じられる。これが消費不振に繋がる可能性はあると思う。
	商店街代表者	周辺に土木、建築を含めて現場事務所が増えてきている。
	スーパー	先行きに不透明感があるため、消費は向上していない気がする。家計が厳しい感じはないが、必要以上の物を購入しないという思いはひしひしと伝わってくる。そのような心理が横ばいの客単価推移に表れているのだと思う。
	酒・各種商品小売業	9月末で同業他社が諸事情により閉店する。これまでも閉店したところの地域へDM等でアプローチすることにより、前年比100%+αの売上げが確保できている。業界全体としてはマイナス傾向が続いていると思う。
	農産物直売所	土産品が売れない。
	小売業（弁当・惣菜店）	周辺では、景況感に関しては以前より悪くないとの見方をするようにはなってきた。企業、業界によっては景気が良くなってきたことが実感できて来たのだと思う。しかしながら、飲食などのサービス業では人手不足は相変わらずで、なおかつ人件費の急激な上昇が価格にうまく反映しづらく、今後の大きな課題になる恐れがある。
	小売業（燃料）	夏の観光需要（県外からの）は多少増加した。地場の消費にはあまり変化はない。
	小売業（時計）	若者向けの商品は売上げが低下しているの、やはり高齢者が多くなっていることから、それに合った商品構成をしていくようになる。
	レストラン	良くなることを祈りたい。
	ラーメン店	建設業は忙しいようだ。
	スナック	年齢のためか店を閉める人が増えてきており、この地域の活気も更になくなっていくのではと思う。
	ラーメン店	少子高齢化、過疎化が進んでいる中でも、大手チェーンの飲食店等が進出し、町に活気が出る一方で、既存の店が苦しんでいる様子が見受けられる。
	食堂	景気の良い人、悪い人の差があり過ぎる。職人が今一番仕事なくて困っている。多くが生活保護者になる。病気で働けないうすぐにもらえると言っている。
	観光型ホテル	ここ何年も思うことですが、消費のメリハリがはっきりしている。
	観光型ホテル	最近、道の駅や農産物直売所めぐりをしている首都圏からの客が増えているような気がする。道の駅などは、各市町村に1箇所ずつ整備するようなことはできないのだろうか。
	タクシー運転手	最近、来年卒業見込みの、大企業を希望する高校生を採用試験と面接を終えた直後に乗せました。その高校生曰く、例年に比べ会社からの募集も多くなっているとのこと。それはそれで嬉しい限りです。ですが、ニュース等で知らされるのは、少子化傾向による人手不足です。会社側も今のうちに採用しておいて人手不足に対処することもあると思います。人口減少は国の衰退につながる諸悪の根源だと思う。この難題の重要性を認識し、そして解決に向かって政府はもとよりその関係筋（県もそうぞぞ！）は国民と一緒に知恵を出し合い努力しなければ日本の未来は無いと思う。
	タクシー運転手	残業の激減で大手企業の従業員も生活給としての（残業代）が少なくなり、大変つらい状況だと聞いている。
	レジャー施設	全国的な気候変動に伴う自然災害等の影響もあり、野菜や魚類等の食物の価格が前年同期比と比べ上昇していると感じる。
	ゴルフ場	国体関係の間合せが増えた。
	ゴルフ場	1. 地元二市の庁舎新築オープンに合わせ、地方創生の動きが活発になりそうだ。 2. 元気長寿ゴルファーの来場に期待が持てそうだ。
写真店	連続テレビ小説「ひよっこ」の舞台の近隣地区であるため、市観光物産協会等でフォトコンテストを企画した。多くの人に伝えたい市内のもの等と題し町見なおし運動が行われている。	
住宅販売会社	9月決算の企業で、一部決算賞与が支給されたという話を聞いたが、全体的にはまだまだだと思ふ。	
企業	林業関係者	環境税最終年度もあり、住民からの問合せが多数。材価安だが、間伐、皆伐に所有者は意欲的。
	水産業関係者	本調査の担当に当たり3か月スパンでの意識付けをしているのだが、今回特に動きを感じられなかった。
	製造業（電気機械器具）	人材の確保が難しい。正社員やパートタイマーの求人を出しても応募がない状況である。10月より最低賃金が改定されるため、時給等処遇面を改定して求人を出しても状況は変わらない。
	製造業（食料品）	あまり変わらないと思う。
	製造業（電気機械器具）	ロボット産業を中心に産業界が活発化しているように感じる。当社での各種仕事量が増えたのは、この影響によるもの大きい。
	製造業（輸送用機械器具）	電動化の動きは中国販売を背景に加速しているが、肝心の北米販売にどのような変化が表れるのか注視していく必要があると考える。
	製造業（精密機器）	いろいろな面での変化を感じる。
	製造業（精密機器）	半導体の仕事が増えています。また、車以外の仕事も増えています。来年は車以外が良くなって車はEVを中心に動きますのでまだまだ不明ですが、車以外で良くなってくると思います。
	金融業	高齢者の預金整理、高齢者が経営する事業所の後継者不在による廃業が目立ちます。また、他市町村への転居等も多く見受けられ、現実はなかなか厳しいものと肌で感じております。
	不動産業	県北地域の人口減少や空き家対策等に関して、新知事(県政)に期待感が高まっている。
運輸付帯サービス業	オリンピック特需で、交通(電車)関連の業務が増加しているように思える。	
雇用	求人開拓員	稲刈りのタイミングが遅く感じる。先日孫の運動会で、学校からJアラートが鳴った際の避難方法や避難場所等の説明があり驚いた。北朝鮮の動向は株価だけでなく、身近にも少なからず影響してきていることを感じる。防災用品等の売り場も目立つようになっている。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	お盆休みや秋の連休が天候不順で、サービス業や観光等の業種でマイナス影響がでている。
	商店街代表者	水戸の中心街は冷え切っていて大変厳しいが、水戸黄門まつりや水戸まちなかフェス等のイベント開催時には大変な人出がある。このような機会に中心街の認識や良さを見直してもらいたい。知事が24年ぶりに交代したので県民は期待している。早速、新知事の名前のゴム印の受注があった。元号の改正、消費税値上げの前の駆け込み需要等、景気回復には動きが必要に思う。
	百貨店	慎重に買物をする客がいる一方、高額品を気に入ったからと購入する客もおり二極化してきている。
	スーパー	世界情勢の不安により、全体的に暗いムードになっているので何か手を打たなければ景気は悪い方向に向かっているとと思う。
	スーパー	客の買物に出掛ける頻度が減少している。
	スーパー	従業員を募集してもなかなか集まらないが、今いる従業員にこれ以上仕事を頼めない。大変厳しい状況である。
	コンビニエンスストア	インターネットで購入した商品の店頭受け取りや発送が急増している。欲しい物にはお金を使う傾向の表れであり、景気が悪いとは考えられない。
	農産物直売所	店舗へ来る飲食店オーナーの2店より、この夏は客単価が伸び悩んだ旨の話があった。
	割烹料理店	今夏は日照不足により、農作物の出来が悪いとのことで、野菜の値が高騰すると飲食店にとっては打撃になる。
	都市型ホテル	インバウンド動向が少しづつ減少している。
	都市型ホテル	不作、不漁等を耳にするがスーパー等で食材がだいぶ値上がりしており、自分も含め買い渋りがあり、この先も不安がある。
	観光型ホテル	予約状況から企業の業績が良くなっているような気がする。
	旅行代理店	地元の街中オープンテラス等が新設された。大いに期待している。
	タクシー会社	景気の動向が不透明であることから、出来るだけ余分な出費は避けています。(常連客)
	ドライブイン	ここ数年、海外からの客がとて多くなっている。毎日のように朝の9時前位には、特に台湾からの客の来園、来店が多い。
	レジャー施設	国営ひたち海浜公園への注目度が相変わらず高い。
	ゴルフ場	相変わらず、天候に左右されることが多い。インターネット、テレビ等の天気予報によりすぐにキャンセルしてくる人が多くなっている。
	スーパー銭湯	求人募集のポスター、貼り紙が益々目に付くようになっている。求人から見れば景気は良いように思われるが実情はどうなのかと思っている。
	ペット美容室	良い人とそうでない人が極端だと思ふ。
	住宅販売会社	優良な土地を確保できれば、契約してもらえらるケースが増えてきた。
企業	製造業(食料品)	行政介入型の地域事業が増えている。
	製造業(印刷・同関連業)	国や県また各自自治体でも景気対策を打ち出しているが、なかなか当社には波及されてこない。
	製造業(印刷・同関連業)	価格競争が激化しているように感じる。
	製造業(窯業・土石製品)	見積りの依頼は若干増加傾向にあるが、なかなか契約には結びつかない。
	製造業(一般機械器具)	建物も建たない。空き家も目立ってきた。売地の看板も目にするようになってきた。
	製造業(精密機械器具)	最近の引合い状況から、研究開発投資が活性化しているように感じられる。
	建設業	不動産を持っていても邪魔なようで、価値を考えず処分する動きがある。
	運輸業(道路貨物運送業)	「コメ、先高観強まる」との見通しらしく、主食の米離れが加速すると考えられる。
	金融業	水戸黄門祭り(8/4~8/6)は例年通りの賑わいを見せました。同祭りにおいては、今回初めて地元のJ2水戸ホーリーホックのパブリックビューイングが開催されました。また、Bリーグ茨城ロボッツの練習場も、今後泉町に設けられることとなっており、スポーツを通じての水戸市の活性化が期待されます。
	不動産業	地元ではイベント等を行い、集客を増やしている感じがする。周りでもイベントを行ったところへ飲みに行く話を聞く。
工務店	知事選があり、トップが交代したこと。	
雇用	公共職業安定所	業種によっては、正社員求人を出しても人手不足の解消になかなか結び付かないため、高齢者を戦力として取り込もうと考えて、比較的高齢者が応募しやすいパート求人を増やしている。
	求人开拓員	IT関連企業(ソフトウェア業)の求人に対する人手不足は相変わらず目立っている。求人依頼に来所する企業担当者はなかなか集まらない求人、どうすればよいかを尋ねることが多くなった。また、製造、販売・サービス業(飲食業、小売業)は求人があっても、応募・採用が結び付かないといった傾向も変わっていない。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	中心市街地活性化への取り組みが行政主導でスタートした。景気浮揚に期待感がある。
	スーパー	生魚のアニサキスの件やO-157の件など「食の安全性」に関する報道等で、そのカテゴリーの商品では売上げダウン傾向が見られた。
	コンビニエンスストア	居住地近辺に飲食店が5店舗まとめて出店した。一番価格が高い店が一番繁盛しているように思える。景気とは無縁かも知れないが、味と価格のバランスに客がより敏感になっているのは間違いないと感じる。
	コンビニエンスストア	自店付近に競合店が多数新規出店しているため、一店舗辺りの売上げは厳しくなってくると思う。
	衣料品販売店	必要性のない物は買い控えをする客が多くいる。
	農産物直売所	行楽客の財布の紐が以前より固くなっている。
	小売業（薬品店）	町の薬局は減少していくばかりで、増えるのはドラッグストアと調剤薬局のみである。ネットでの薬品購入もより増えていくと思われるので、身近に薬局がなくなっていくのは県民の保健衛生に対してどうなのかと思う。
	小売業（食品）	温暖化のためか、三陸、常磐の小女子、サンマ、霞ヶ浦のワカサギ等不漁であった。9月の米は良いとのことなので、これからの3か月に期待したい。
	小売業	会社周辺を見てみると、新築の家が増えている。当社にも良い影響があることを期待したい。
	洋食食堂	当地は人口がそれほど多くはないが、自動車ディーラーの新店オープンに続き農業資材の大型店も開店する。やはり当地は農業関係者を筆頭に（経済的にゆとりのある）大型の実体経済を有していると思う。
	日本料理店	季節に応じてお金は使うが、それ以外は飲食代に使うより、自分の趣味や自分磨きに金銭が流れているように思う。
	海鮮料理店	特に集客が良くない。昔と違い、外食をするということに特別な思いが客になくなってきている。家族なら一人単位1000円位、飲み会等などでもほとんどが飲み放題を注文する。仕事が忙しくても売上げは最初から決まっている。とにかく厳しい。
	運転代行	特に目立った動きは見られない。
	タクシー会社	北朝鮮の核開発やミサイル発射の影響でマーケットが乱降下している。
	タクシー運転手	アリーナ（緊急災害時避難所、平常時文化スポーツ施設）の住民投票で施設の内容が変わるかも知れない。工事が始まっているので、内容が変わると36億円かかると聞いた。気になる。
	タクシー運転手	一時的なイベント等で向ういても終われば静かになる。都市部は景気が良いのかも知れないが地方は別だ。特別なことがあっても人々はもう浮かれない。冷めたものだと思う。これからの若い世代は大変だと思う。
	理・美容店	大きい買物（家、車）をした話はよく耳にする。日常生活のお金は少し節約していると思う。平日のファミレスは客が少なくなった。
	クリーニング店	外国人の就労者が増えてきた。中国、カンボジア、インドネシア、ラオスとさまざま。米の値段が前年より高い。
	住宅販売会社	この状況が一時的なものか不明だが、景気回復に繋がってくれればと思う。
	企業	農業関係者
製造業（食料品）		物価は上がっているが給料は変わらない。中小企業も値上げができれば、給料を上げることができる。
製造業（食料品）		水産資源変動によるイカ・サンマの極端な不漁が起これ、製品価格が大幅に上がったので販売数量が低下した。そのような中では比較的原料状況に恵まれたサバ・イワシ缶の生産に各社が注力する形となり、安値販売のスパイラルから当面脱却できない。
製造業（電気機械器具）		あまり変わらない。さほど良くも悪くもなっていない。
製造業（金属製品）		地域的に生産量が多いと考えられるが、それぞれの企業は若年者の生産活動参加が極めて低くなっている。
建設業		新人が戦力になりつつあり、頼もしく感じる。
建設業		若い農業従事者に元気がある。地元グループ20人位で葉物野菜を栽培している。年商は15億円位あるそうだ。（増減はあるが）その若者が家を新築すれば建築件数が微増しそうだ。
運輸業（道路貨物運送業）		既存荷主の中で新規固定の仕事の一つ一つ丁寧に増やしていくことが大切である。各部門でのスムーズな運動性とタイアップが大事である。
金融業		当組合の取引先である中小零細企業においては、業況が好転している企業はあまり見受けられず、売上等も横ばい状況にて推移していると思われます。
保険業		太陽光発電施設が多く作られている。
雇用	内装工事業	夏祭りに行ったら若者が大勢いて驚いた。平日は人影がまばらな町なので、この若いエネルギーを取り込んで景気を良くできたらと思うがこのままいくと荒れ果ててしまうような気がする。
	人材派遣業	地元には物流企業が多くあるが、なんとなく物流車の流れが少なくなっているように思う。
	民間職業紹介業	近年、外国人を含めて雇用を希望する企業も多い。また、外国人技能実習生の受け入れを検討している企業も増えてきているようである。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	百貨店, 総合スーパー	10月よりスポーツクラブが outlet する。それに伴い当店もスポーツ用品に力を入れていく。スポーツクラブの行き帰りに、寄って行こうと思う客が増えるのではないかと。
	スーパー	人手不足を感じる。募集の広告を毎週のように入れてもWebサイトにのせても応募が少ない。
	百貨店, 総合スーパー	飲食レストランの売上は前年を上回っている。家族と外食する状況から景気は安定していると感じる。
	小売業 (生花店)	地元中心市街地から隣の市への老舗小売店の移転が続いている。
	小売業 (米穀)	閉店するスーパーが増えるかも知れない。それからガソリンスタンドの閉店が後を絶たないが、ある自動車関連会社との話では、排ガス規制で、夏に原付バイクが製造中止になり、車も電気自動車にシフトしていくと、ガソリン、オイル、プラグも要らない等々不要な物が増えるそうだ。関係者は、戦々恐々らしい。相変わらずネット販売は好調なようだが、運送会社の運賃値上げは我々にとっても大きな痛手だ。
	洋食食堂	賞味期限間近の商品を探して集まっている。
	寿司店	町ができて約45年になるが老人が多い。20歳でこの町に引っ越ししてきた人で65歳、30歳だと75歳。高齢化だ。
	都市型ホテル	昨今話題の一つの、北朝鮮のミサイル・核による景気の影響はあまりなく、変わらないと思われる。二つ目は県知事選だが、今後、知事の県政運営によっては、県の魅力度もUPして景気がプラスに変わると思われる。
	旅行代理店	東日本大震災から6年半が立ち、気持ちの上で前向き思考になりつつある。貯蓄しながらも活きたお金の使い方、消費や旅行を実施するかはわからないが、問合せは増加傾向にある。
	サービスエリア	特筆する動き等は見られません。
	ゴルフ場	ハイヤー等、ドライバー付のプレーヤーが若干だが増加しているような気がするので、景気が上昇気運であると思われる。
	ゴルフ場	最近北朝鮮のミサイル発射等があり、警告が鳴り響いている。ゴルフ場ハウスの外にいる人に、放送で中に入ってもらおうようお願いする。今まではなかったことだ。景気にも影響するのではないだろうか。
	工場見学案内	7-8月も引き続きギフトショップでの客単価が前年同期比でアップし続けている。
	ボウリング場	最低賃金の底上げの影響がどちらに向かうか。特にサービス業の反応だが、値上げに踏み切ったとしてもしくは踏み切れなかったら、体力的に耐えられるか微妙だ。
	レジャー施設	業界全体で来場者や売上げが減少傾向にあり、新規顧客開拓が必要と見られる。
	理・美容店	教育に関してはお金を掛けるものだ。髪の毛を切るのは安いところでも我慢するが、教育に不景気は関係なく、お金を掛ける親が多い気がする。
住宅販売会社	土地のマッチングが非常に重要になってきている。	
企業	製造業 (食料品)	特に今期は例年より悪いように思われる。
	製造業 (家具・装備品)	当地の (町内) 空き地に老人ホームが二か所できました。あまり活性化に役立つとは思えません。世界も国内も期待が持てそうにありません。
	製造業 (窯業・土石製品)	知事の交代により、今後公共事業がどうなっていくのか不透明である。
	製造業 (非鉄金属)	人手不足と人件費上昇が懸念材料。
	建設業	友人の会社 (異業種) で数社に話を聞いてみると、どの会社も忙しいと言っている。景気が良くなってきているのを話の中でも感じることができる。
	不動産業	ファミリー層が賃貸物件を解約し、自己所有物件を購入するケースが増えている。バスなどの公共交通の利用者が減少しており、赤字路線の廃止、利便性の低下という悪循環を軽減するため、土浦市では、公共交通の利用を促進している。まちづくり活性化バス「キララちゃん」、霞ヶ浦広域バス、路線バス、のりあいタクシー土浦、タクシーがあり、土浦市公共交通案内のホームページ「つちナビ」でバスの時刻表や、市内のタクシー事業所の連絡先を掲載している。
	金融業	特に変わっていない。
雇用	人材派遣業	圏央道周辺の動きが活発にいなっているが、県内の人材不足が課題である。
	公共職業安定所	当所管内ではないが、近隣所管内で雇用調整に伴う、大量離職が発生した。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	春、秋の季節感がなくなり、消費商品のアイテムが少なくなっている。
	商店街代表者	夏に北海道を旅行した。ハイヤーの運転手や旅館で話を聞くと、今年の夏は芳しくなかったようだ。気候現象のせいだけではないような気がした。また、どこに行ってもアジア系の観光客に出会った。賑やかだった。
	衣料品販売店	厳しいような話ばかりで良い話を聞くことがない。
	自動車販売店	新型車が発表になったが、来店客に変化はない。
	ホームセンター	間接資材のまとめ買いが少なくなってきた。無駄な消費を抑える意識が高まっている気がする。
	製茶販売	少し前までは、女性・老人はまだ財布の紐は緩かったと思うが今は皆が締めていると思う。こんな様子ではお金は動かないので、景気も良くはならないと思う。
	和食食堂	車の通行量が少なかったり、何となく町中に活気が感じられない。
	ラーメン店	何か最近ではラーメンブームで、夏でも町のラーメン屋はどこの店でも影響が表れています。
	日本料理店	都心部は良さそうだが地方は厳しい。
	ラーメン店	「労働力に外国人を頼みにすると労賃が海外に流出し、国内に回らず景気は低迷するばかりだ。」と客から聞いた。
	都市型ホテル	地元で発電所の建設が始まった。弊社でも早速営業に向かい、何とか取り引きをさせてもらえることになった。多少なりとも私どもの地域に工事の人々の流れが今後出てくると思われる。
	旅行会社	ここ数年は変化なし。
	旅行代理店	①友人から聞いたが、生命保険料の支払いが未納になっている人が増えてきたらしい。②中高年の人で、自家用車をやめて、デマンドタクシーに変えた人がいる。自転車に乗り換えた人もいる。
	タクシー運転手	近くの大型店や個人店が閉店しており、土、日以外は人があまりいない。
	ドライブイン	求人難が続いており、人材確保がままならない状況である。
	理・美容店	圏央道が開通し交通量もだいぶ増加したようなので、これからの開発に期待したい。
	商店街代表者	消費者の儉約志向が見受けられる。
住宅販売会社	人手不足の話は聞くが、景気云々と言うよりも、将来的な働き手不足に対する先行投資的な要素が強いと思われる。	
企業	農業関係者	大手貨物自動車製造会社の工場移転に伴う人口流入があり、特にコンビニエンスストア及びスーパーマーケットでの客層の変化が見受けられる。(20・30代の単身者風)
	農業関係者	金融機関が低金利での借り換え貸付けに力を入れてきている。
	製造業(印刷・同関連業)	72年間も戦争のない世界で一番幸せな国だったのに、北朝鮮のミサイル発射に日本中が踊らされている。英霊に感謝するとともに、平和ボケもほどほどにしないとイケない。政治家任せではなく、日本人一人一人が、政治、仕事(経済)、家庭(家族)のこと等をよく考える機会かも知れない。
	製造業(印刷・同関連業)	製造業の中心的存在の人から、国内、特に地方の製造業は先細りが確実だと思うので、後継者を真剣に考慮中との話を聞く。倒産、廃業、縮小が少なからず進行中にあるため、現実の話だと感じた。「作られた景気拡大」を益々感じる。
	製造業(窯業・土石製品)	販売価格の低価格化に歯止めをかけ、高級化とは言わずとも、再生産可能な価格や取引数量を業界で目指すが実現の見通しが薄い。
	製造業(窯業・土石製品)	当社は同業者への加工卸業態である。同じ石材業でも小売りを業態としているところでは、全部とは言わないが倫理的ではない商売を上手に行い、また利益を得ているのを多く見受ける。
	製造業(金属製品)	半導体関連と建機部門はしばらくは繁忙となるようである。一方海外化の進む業界もあり、一様の景気判断は甚だ難しい。
	建設業	建築の仕事が少ないこと。
	金融業	平成29年4月27日(木)にオープンした地元のまちなか広場と、それに付随してオープンした観光交流センターの客足が多く、順調にあります。また、平成29年2月の圏央道開通により、市近隣の活性化に繋がるものと思われます。
雇用	求人広告	顧客の話を聞くと洋服や雑貨など小額の物を購入する動きは鈍いようだが、車や家など高額商品は絶好調で売れているみたいだ。ローンを組みやすい環境なのかもしれないが、高額商品を扱う企業の人員補充が活発である。
	学校就職関係者	技術職への求人が人手不足の影響か、賃金の改善が多く見られる。アーク溶接技能講習会の受講希望者が多く、応募者が定員の2倍以上になっている。